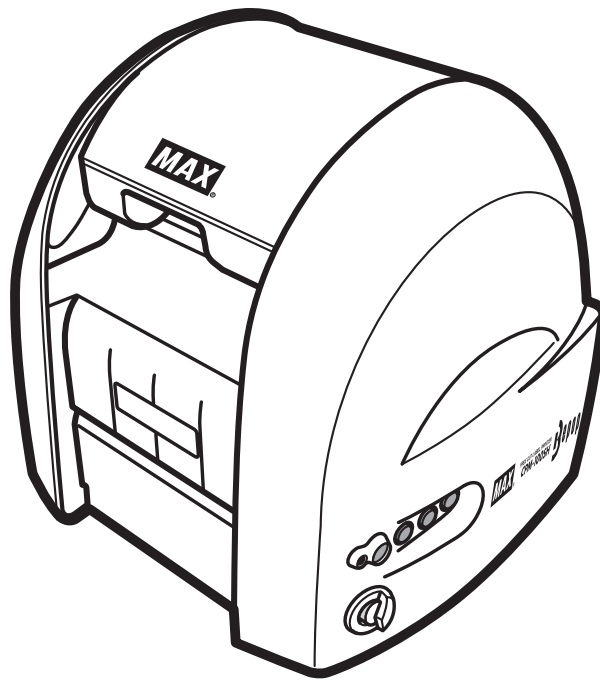


フリーカット ラベルプリンタ
CPM-100SH

取扱説明書

Beppol[®]



ソフトウェアのインストールに関しては、本書または、別冊の「インストールマニュアル」をお読みください。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 最新情報は弊社ホームページをご参照ください。

目次

必ずお読みください

はじめに	2
本書の表記について	2
ご使用上の注意	2
免責事項	3

お使いになる前に

同梱品	4
各部の名称	4
キーの主な機能	4
本機でできること	5
編集ソフト「Bepop PC Pro」の主な機能	5

本体の準備

シートをセットする	6
インクリボンカセットをセットする	7
カッティングツールをセットする	8
カット圧を調整する	9
オフセット値を設定する	10
ケーブルをつなぐ	11
PCと本体をつなぐ	11
シートガイドを取り付ける	13

ソフトウェアのインストール

インストール前にお読みください	14
「Bepop PC Pro」のインストール	15
USBプロテクトキーのインストール	17
プリンタドライバのインストール	21
CPM-100SH本体のIPアドレス設定	25

まず使ってみましょう

ラベルレイアウトを作成する	27
1 電源を入れる	27
2 シンボル (ピクトサイン) を入れる	28
3 文字を入力する	29
4 表枠を挿入する	30
5 塗りつぶしをする	31
6 カット枠を挿入する	31
7 シートの種類を選択し、印刷する	32
印字濃度を調整する	34
ラミネートフィルムを使う	35
ラミネートリボンを使う	38
切り文字 (カッティング) レイアウトを作成し、カットする	40
カットした文字を貼り付ける	41
「簡単印刷」の使い方	44

アンインストールの方法

ソフトウェアのアンインストール	45
プリンタドライバのアンインストール	46

Bepop-netを利用する

こんなときは	47
商品仕様	51
お手入れのしかた	51

必ずお読みください

はじめに

この度は、ビーポップCPM-100SHをご購入いただき、誠にありがとうございます。



本機種は、看板・案内表示といった表示物や、カラフルで耐久性の高い高画質ラベルを、どなたでも簡単に作れるラベル作成機です。

なお、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取り扱いいただけますようお願い申し上げます。

本書の表記について

■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次の通りです。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性及び物的損害のみの発生、また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書かれています。

お願い

本機が故障し、修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。






操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。



説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。

■絵表示について

 「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 注意内容 です。	 「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 禁止内容 です。	 「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 指示内容 です。
---	---	---

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しくお取り扱いください。

警告

- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。故障や、火災、感電、けがの原因になります。
- 電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。
- 電源コードを加工しないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- 電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。
コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。
- 電源コードは、束ねたまま使用しないでください。
発熱により、火災や故障の原因になります。
必ずほどいてご使用ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
- 水に濡れた手、衣服のまま本機の操作をしないでください。
感電の恐れがあります。
- コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。
火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
コードが破損して火災や感電の原因になります。
- シート出口部には、絶対に手や物を差し入れないでください。
機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じることがあります。
- 電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。

- 水、薬品などが本機にかからないようにしてください。
万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると故障や、火災、感電の原因になります。
- 故障のまま本機を使わないでください。
煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。
すぐに電源コードをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



- 本機は絶対に分解または改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

- 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。
100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。
- 必ずアース接続を行ってください。
万一、漏電した場合に、火災、感電の恐れがあります。
- アース接続は必ず、電源プラグを電源につなく前に行ってください。
アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。
- 電源プラグは定期的に清掃してください。
長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- カッティングツール（替え刃）は、お子様の手の届かないところに保管してください。
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。



注意

- 本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。
倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。
電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態でのご使用は避けてください。
動作が不安定になることや、本機故障の原因になります。
- コネクタには直接手で触れないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。
- サーマルヘッドには絶対にさわらないでください。
印刷直後のサーマルヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがサーマルヘッドの故障の原因になることがあります。
- パソコンに保存した内容は、永久的な保存はできません。
パソコンに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 設置場所を移動する時は、必ず電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
無理をするとコードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 本機内部に粘着シート、インクリボン、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
- ドアカバーの開閉時には、手等をはさまないように注意してください。
- 本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体側面のトツテを持って運んでください。
けが、故障の原因となります。
- カッティングツール（替え刃）の交換時、シートの装着脱時には、必ず電源を切ってください。
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
- 替え刃の刃先は非常に鋭利ですので充分ご注意ください。
カッティングツール（替え刃）の先端部は、けがをする恐れがありますのでさわらぬようご注意ください。

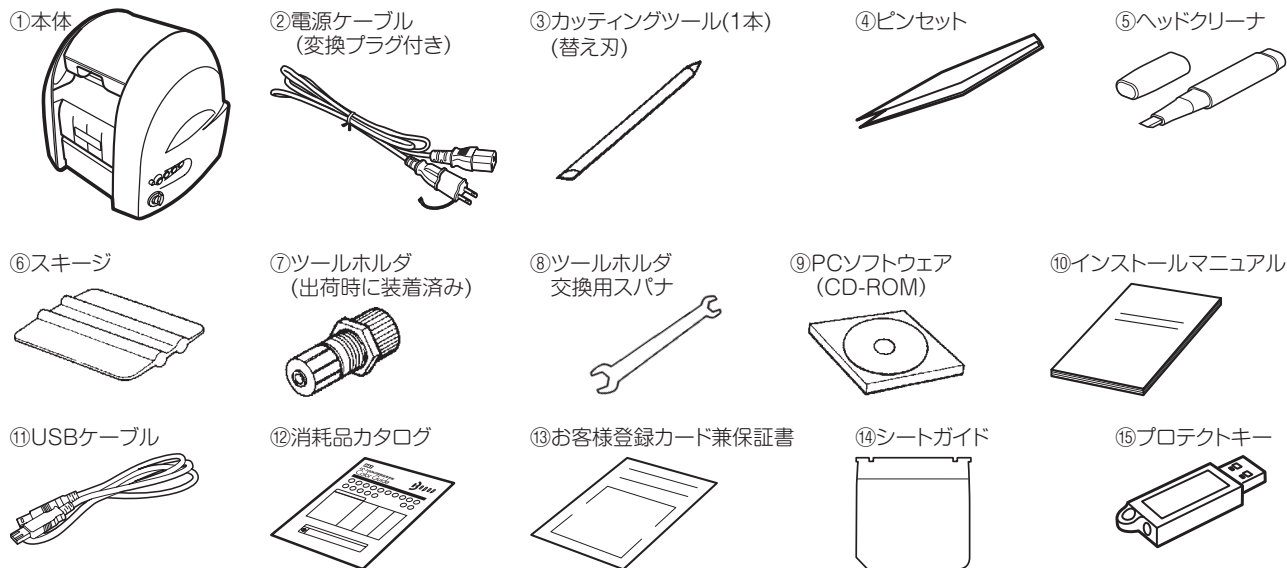
免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、およびこれにより生じた2次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

お使いになる前に

同梱品

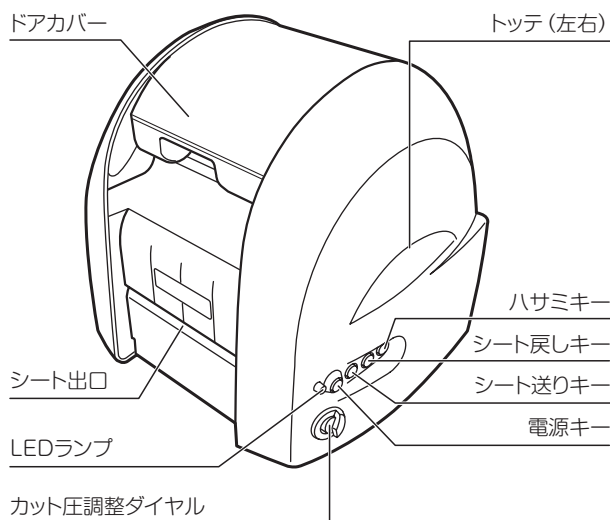
箱を開けて、下記のものがすべて揃っていることを確認してください。



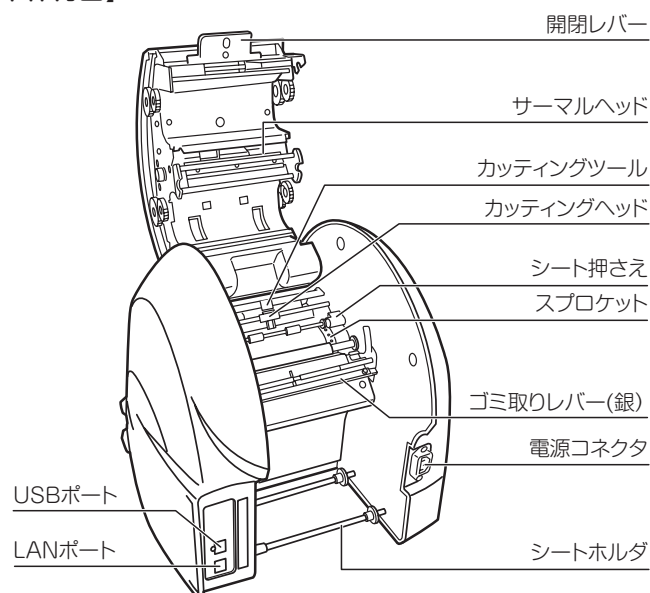
- お手数ですが、お客様登録カードに必要事項をご記入の上、FAXにて送信するかハガキ部分をご投函ください。
- お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所・電話番号及びご使用中の当社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や当社製品・サービスの向上のために利用させていただきます。
- 操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますようお願いいたします。

各部の名称

【本体前面】



【本体背面】



キーの主な機能

- 電源キー : 電源の入切をするキーです。
- シート送りキー : 押し続ける間、シートを送ります。
- シート戻しキー : 押し続ける間、シートを戻します。
- LEDランプ : 電源スイッチがONの時緑色で点灯します。
エラー状態を知らせる時赤色で点灯または点滅します。
- ハサミキー : シートをカットします。

本機でできること

- 専用のシートとインクリボンで印刷し、フリーカットをする事によって、カラフルで自由な大きさ・形のラベルを作成する事ができます。また、600dpiの印字密度により、小さな文字もきれいに印刷する事ができます。
- 印刷したシートの表面に手貼りラミフィルム、またはオプションのラミネートキットを使用してラミフィルムを貼り付けた後、シートを再度プリンタにセットし、ラベルの形状に合わせて枠をカッティングすることで水、油、薬品、こすれに強いラミネートラベルを作成できます。
- 印刷時にラミネートリボンを使うことで印刷したシートの表面に薄い保護層を作り、こすれに強く文字の消えにくいラベルを作成できます。
- 専用シートに最大10色 (透明:印字しない設定) の多色印刷ができます。
(単色のリボンを使用したカラー印刷です。)
- TrueTypeFontを使用して、ラベルだけでなく切り文字 (カッティング) ステッカーを作成できます。
※一部のTrueTypeFontでは、書体データの作成方法に起因して正しくカットされない場合があります。
- カラーの異なるシートを重ね合わせ、表示を目立たせる縁取り作画ができます。
- 2分割作画機能で、最大190×2000mmの表示物を作成することができます。
- BepopPCProで作成したレイアウトデータを、CFカードを経由して別売の専用キーボードLC-KB1000からCPM-100SHIに出力できます。専用キーボードの取扱いについては、キーボード付属の取扱説明書をご参照ください。

編集ソフト「Bepop PC Pro」の主な機能

- 100種以上のシンボルマーク、絵文字やイラストなどがあらかじめ登録されています。
- 「はやわざ」と呼ばれる例文データが搭載されています。例文の文字だけを変更して簡単に表示物を作成できます。
- 本アプリケーションは、Unicodeに対応しているため外国語の書体を使用することができます。付属の書体の他、パソコンにインストールされているフォントを使用することができますが、書体によっては正常に表示されなかったり、正常にカッティングできない場合があります。
- 日本語は「MAX太角ゴシック体」「MAX太丸ゴシック体」の他、(株)モリサワ社製の「UD黎ミンB・UD新ゴB・UD新丸ゴB」の3書体を、中国語・韓国語はARPHIC社製のゴシック系の書体を収録しています。
*上記書体は、本アプリケーションのみで使用可能です。
- スキャナ等を使って読み込んだロゴマークなどのビットマップ形式のデータ (bmp形式) を、Bepopで出力できる独自のアウトラインデータ形式 (拡張子“pcf”) に変換し、シンボルとして登録できます。
※スキャナから読み込むデータの解像度によっては、スキャナから読み込んだデータをアウトラインデータに変換しただけでは、角や曲線部分が美しくカットやプリントできない場合があります。
- CSV形式のファイルからデータの差込印刷ができます。
- 英数字のテキストに連番を設定することができます。
- 「テープモード」によりオフィスや現場で使用するテープが、幅・長さ・文字を入れるだけで、どなたでも簡単に作成できます。わずらわしい角を丸く切る作業も、角丸にチェックを入れるだけで簡単にできます。
- 時計ボックス機能で、パソコンの日時と連動した日付時間枠を作成することができます。
- DXF形式のデータをインポートすることができます。
- 自社開発のアプリケーションとの連携ができます。

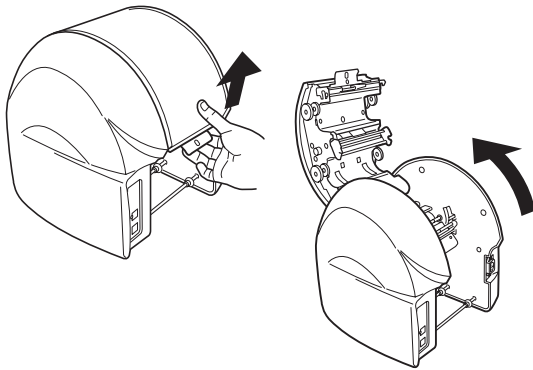


● 専用のホームページ <http://www.bepop-net.com/> から Bepop PC Pro用ピクトサイン (シンボル) を無償でダウンロードできます。

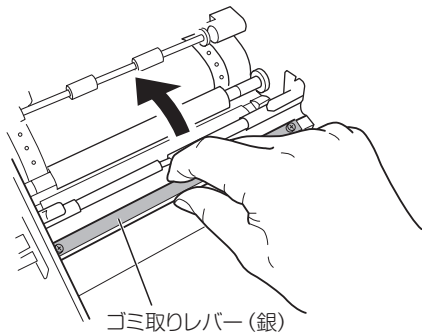
本体の準備

シートをセットする

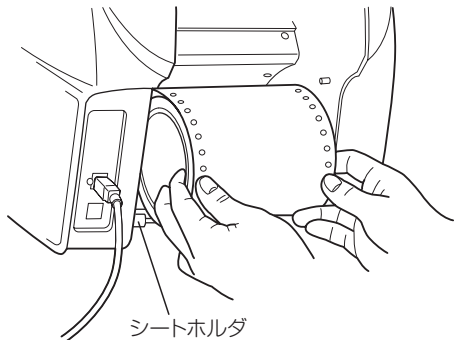
- 1 電源を切った後、開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



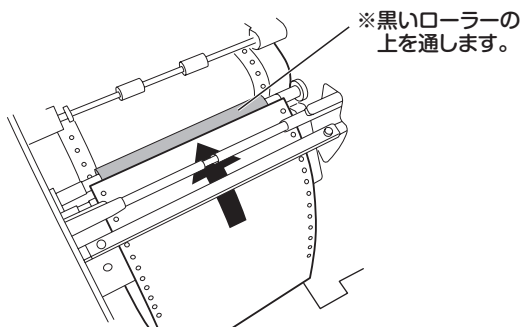
- 2 ゴミ取りレバー（銀）を持ち上げます。



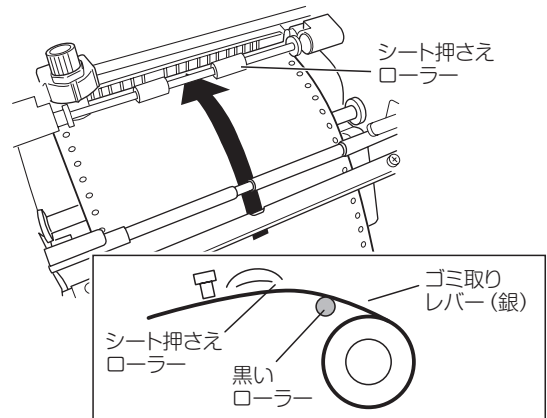
- 3 シートホルダにビーポップシートをのせます。



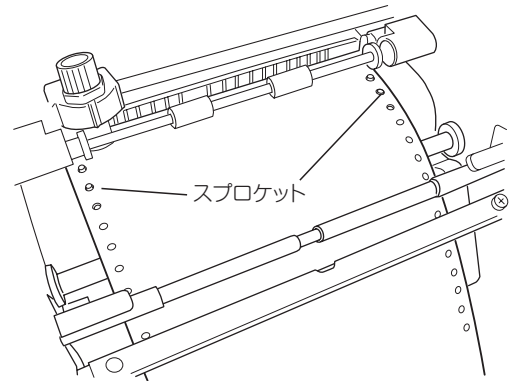
- 4 シートをゴミ取りレバー（銀）の下に通します。



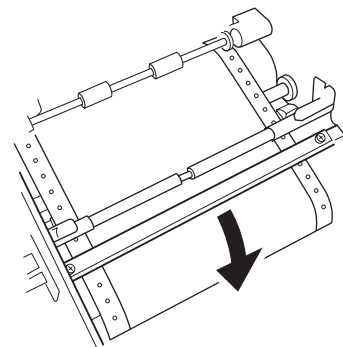
- 5 シートを前方に引き出し、2本のシート押さえローラーの下を通します。



- 6 左右のスプロケットのピンとシートの穴を合わせます。



- 7 ゴミ取りレバー（銀）を下げてシートをおさえます。



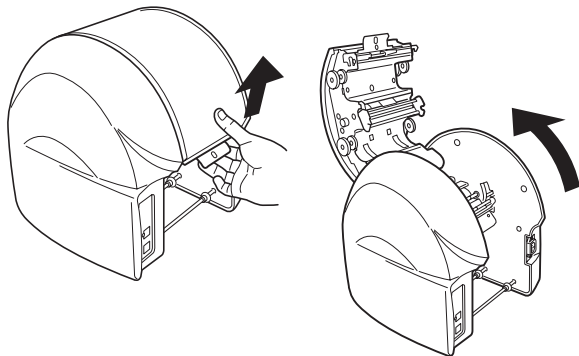
- 8 「カッチン」とロックがかかるまでドアカバーを閉めます。

⚠ 注意

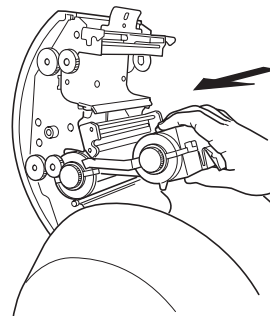
❗ シートのセット時は、必ず電源を切ってください。
機械が不意に動作したときにケガの原因になります。

インクリボンカセットをセットする

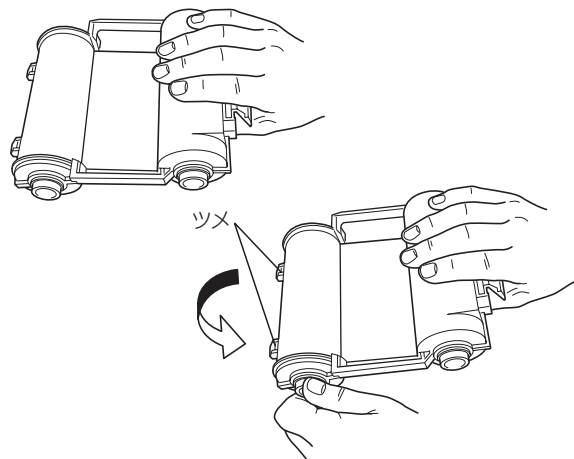
1 電源を切った後、開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開きます。



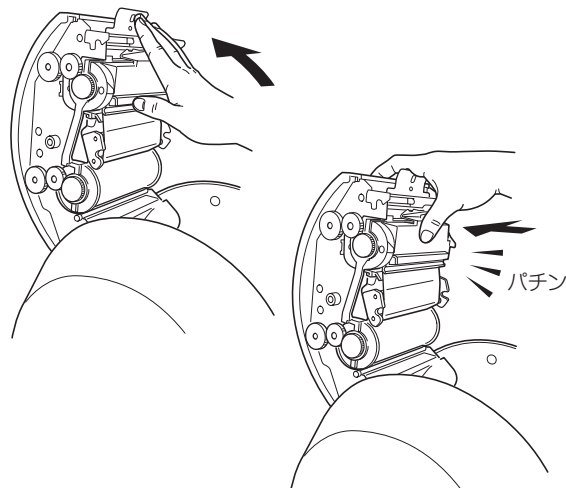
3 インクリボンカセットのツメをドアカバー裏の溝に合わせ、差し込みます。



2 インクリボンカセットをスポンジが下面になるように持ち、リボンギヤを図のように矢印方向へまわしインクリボンのたるみを取ります。

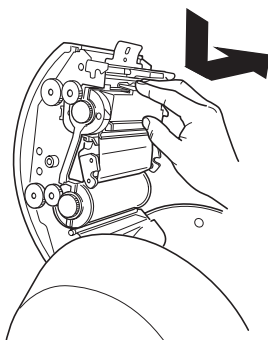


4 ツメを支点として上方に回し入れます。スナップでインクリボンが固定され、『パチン』と音がするまでしっかりと押し込みます。

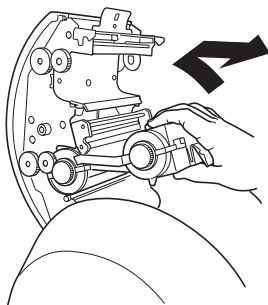


本体からインクリボンカセットを取り外す

1 ドアカバーを開け、インクリボンカセットのスナップを押しながら、手前に引き出します。



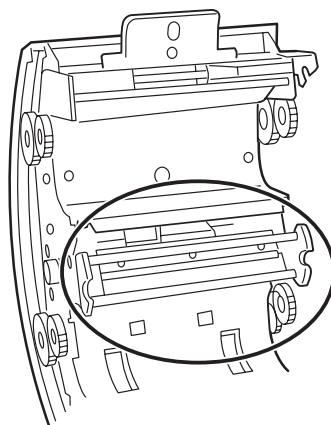
2 カセットを上方に回した後、引き抜きます。



⚠ 注意

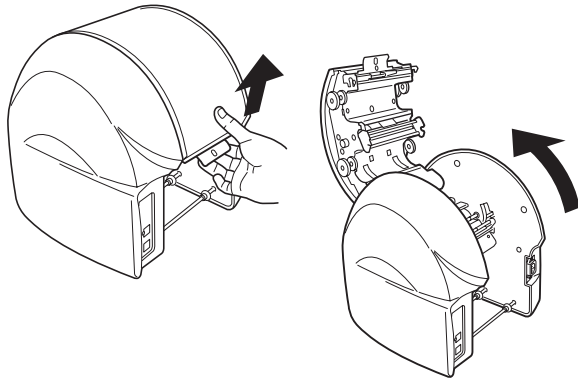


サーマルヘッドには手を触れないでください。
やけどをする恐れがあります。

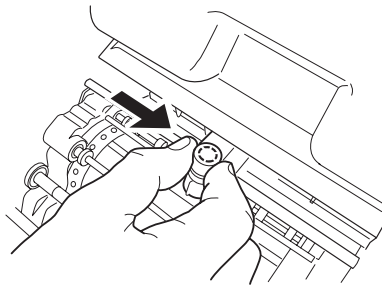


カッティングツールをセットする

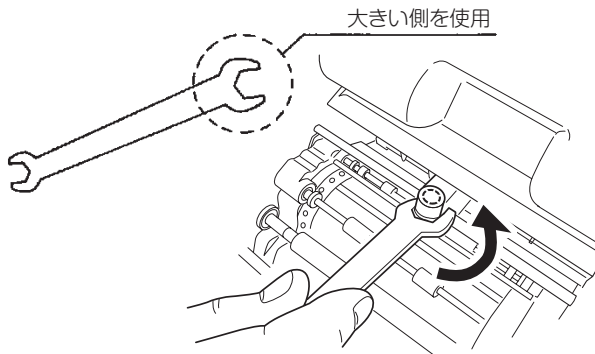
1 電源を切った後、開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



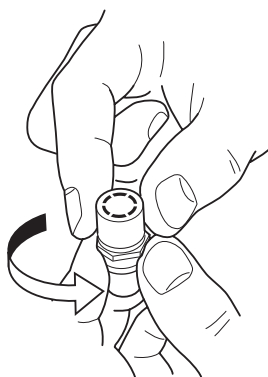
2 カッティングヘッドを中央に手で移動させます。



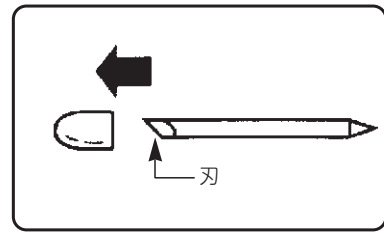
3 付属のスパナを使用してツールホルダを反時計方向に回し取り外します。(スパナは大きい側を使います。)



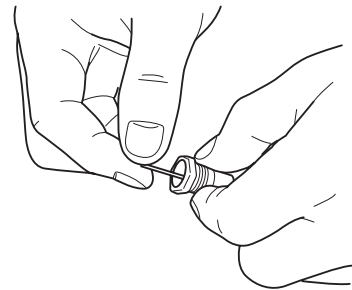
4 取り外したツールホルダのキャップ(上部)を反時計方向に回し取り外します。



5 新しいカッティングツール(替え刃)を用意し、保護キャップをはずします。

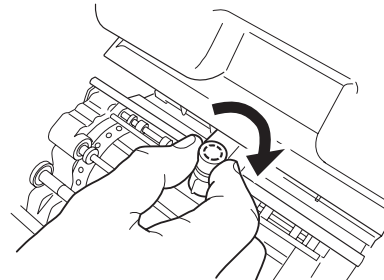


6 刃先(保護キャップがついていた側)を下にして、ホルダ中央に軽く差し込みます。
※交換のときは古いカッティングツールを先に抜き取ります。



7 ホルダキャップをしめます。キャップをしっかりしめると刃先が適切な出量になります。

8 ツールホルダをカッティングヘッドに手で締め込みます。



警告

❗ カッティングツール(替え刃)は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

注意

❗ カッティングツール(替え刃)の装着脱時は、必ず電源を切ってください。機械が不意に動作したときにケガの原因になります。
カッティングツール(替え刃)先端部は、けがをする恐れがありますので触らないでください。

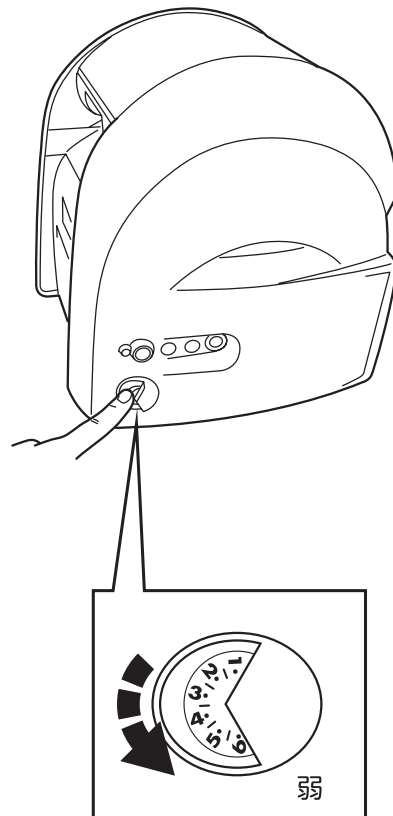
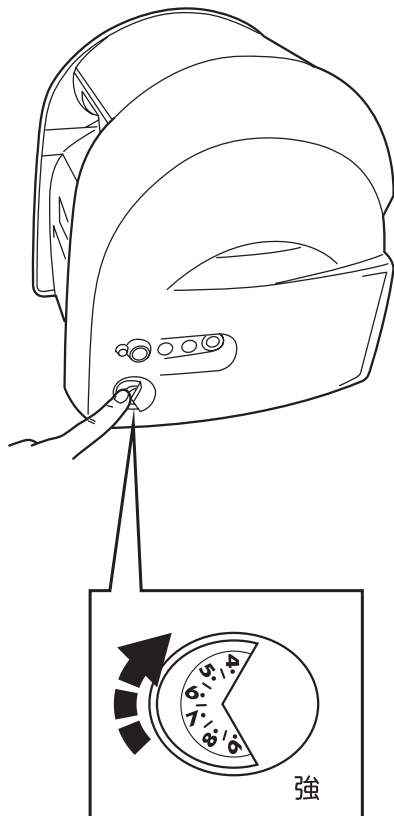
カット圧を調整する

刃先の圧力 (カット圧) を変えることで、切り込みの深さを調整します。工場出荷時は常温(15℃～25℃)で通常シートを使用したときに適正な位置にダイヤルを調整してあります。シートの種類、気温等により切れすぎたり、切れなかつたりしますので、ご使用前に試し切りを行ない、カット圧を調整されることをお勧めします。

剥離紙に少し跡がつく程度が適正なカット圧です。

- シートが切れておらず、うまくはがれない場合は、カット圧が弱い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ大きな値にしてシートを切れるように調整してください。

- 剥離紙まで切ってしまう (剥離紙の裏まで切れている) 場合は、カット圧が強い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ小さな値にして剥離紙を切らないように調整してください。



MEMO

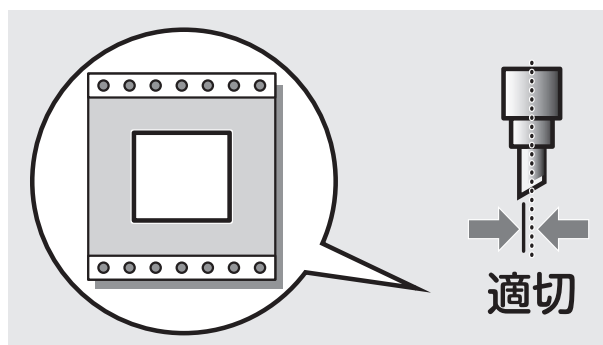
- ☆蛍光シートをカットする場合は、カット圧を通常シートより1目盛り程度大きくしてください。
- ☆カット圧が強いまま使用し続けるとカッティングツールの寿命を早めます。また、シートの台紙までカットしてしまい、故障の原因となります。

オフセット値を設定する

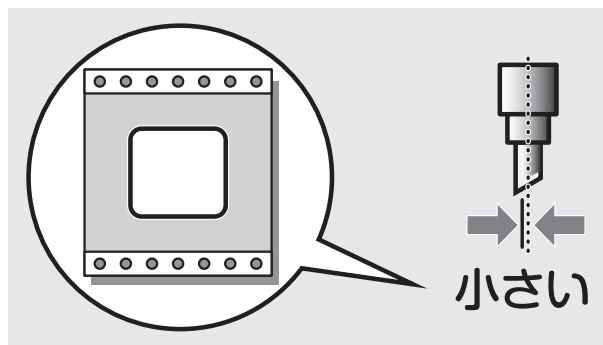
カドがキレイにカットできない場合、オフセット値を変更します。オフセット値は、0.150～0.600mmの範囲で0.025mmずつの設定が可能です。

- 1 Bepop PC Pro入力画面で、「ファイル」－「印刷」を選びます。
- 2 印刷ダイアログ画面で、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- 3 「出力設定」タブをクリックします。
- 4 [カッタのオフセット] ボタンをクリックします。
- 5 設定値を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

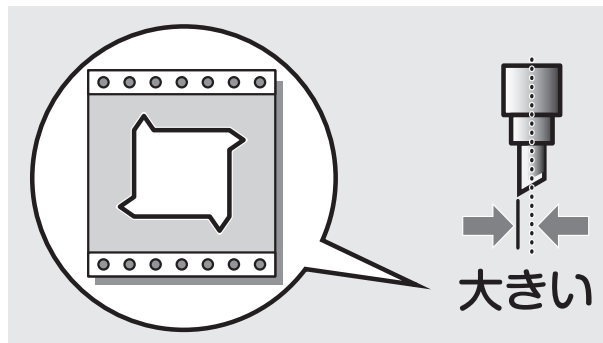
■適切なオフセット値を設定すると、右図のようにカッティングされます。



■オフセット値を小さくすると右図のようにカッティング文字の角の部分が丸みを帯びるようになります。



■オフセット値を大きくするとカッティング文字の角の部分に飛び出しが出るようになります。



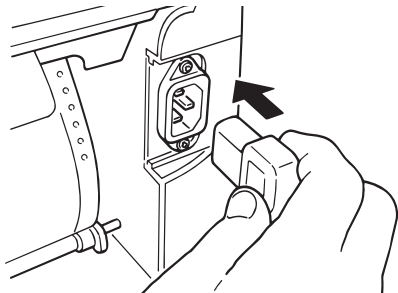
MEMO

☆設定したオフセット値を次回以降の出力にも活かしたい場合は、「コントロールパネル」－「プリンタ」－「プロパティ」－「詳細設定」タブの「標準の設定」を開いて設定してください。

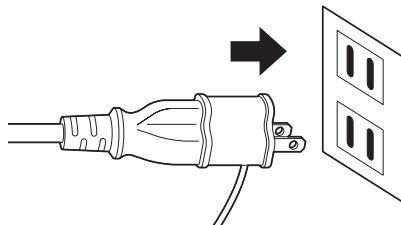
ケーブルをつなぐ

電源を入れる

1 電源ケーブルを本体の電源コネクタに接続します。
(粘着シート、インクリボンカセット、カッティング
ツールをあらかじめセットします。)



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

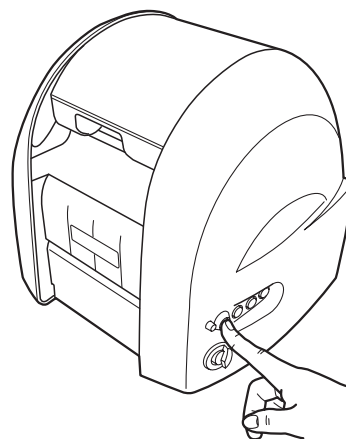


警告

! 必ずアース接続を行なってください。

3 パソコンと本機を接続ケーブルで接続します。
「PCと本体をつなぐ」を参照

4 本体の電源キーを押します。電源をONにすると、
緑色のランプが点灯します。

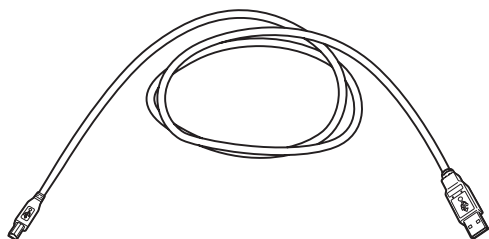


PC と本体をつなぐ

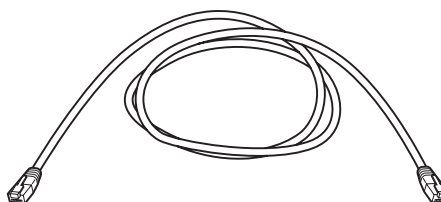
CPM-100SHでは、USBケーブル、又はLANケーブルでパソコンと接続します。また、USBケーブルを使って専用キーボードLC-KB1000 (税込73,500円 (別売)) と接続できます。(専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。)

インターフェースケーブルを用意する

USBケーブル



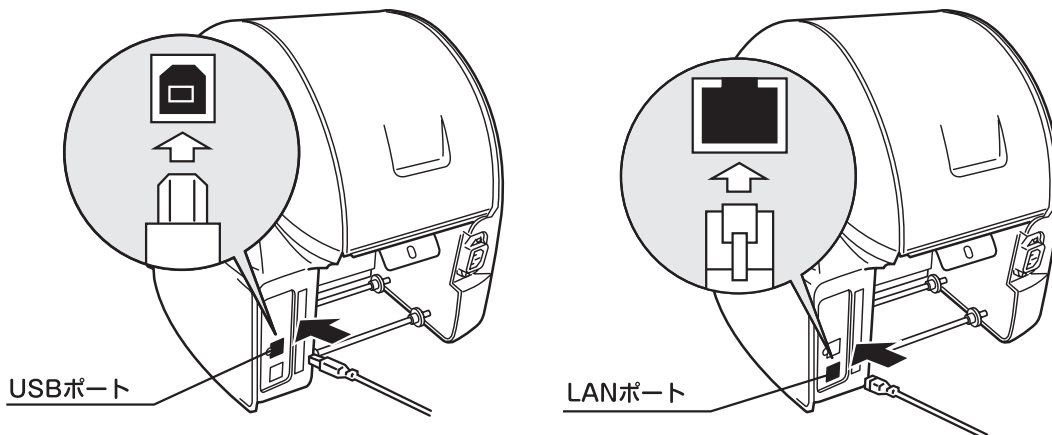
LANケーブル (別売品)



インターフェースケーブルを接続する

1 コンピュータ側にBepopPC Pro (入カソフト) 及びプリンタドライバが、すでにインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、P14「ソフトウェアのインストール」を参照してインストールを行なってください。

2 本機の側面側にあるコネクタと各インターフェースケーブルで接続します。



3 もう一方のインターフェースケーブルをコンピュータ側のコネクタとで接続します。
※コンピュータへのインターフェースケーブル接続については、コンピュータの取扱説明書をお読みください。

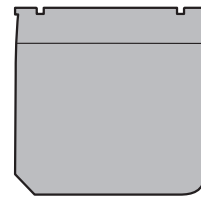
MEMO

☆ USB 接続で、USB ハブを使用すると正常に動作しない場合があります。
その場合には USB ケーブルを直接コンピュータ本体の USB コネクタに接続しておためしてください。

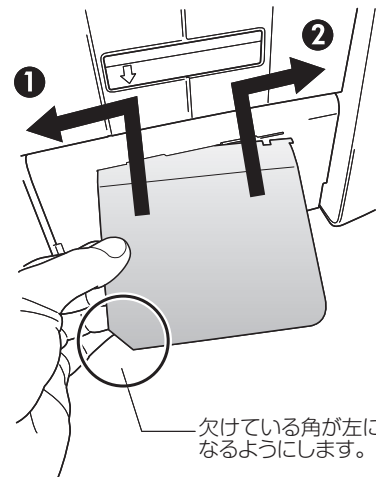
シートガイドを取り付ける

シートガイドは、細かいシート作成や長尺のシート作成の際にスムーズなシート排出を行なえる補助ガイドです。下記の手順に沿って取付けを行なってください。

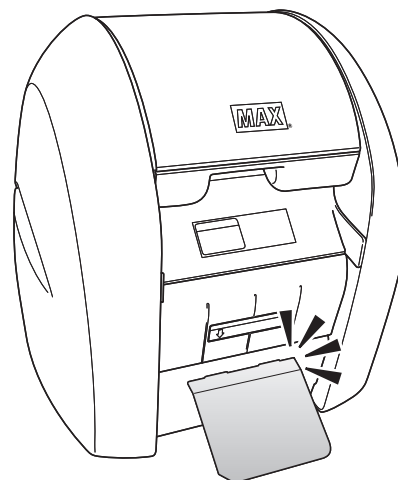
シートガイド



1 本体排出口の下部の溝に、シートガイド突起部の片側を差し込みます。



2 続いて反対側の突起部を溝に差し込みます。



カチッと音がするまで差し込み、
しっかり固定してください。

ソフトウェアのインストール

インストール前にお読みください

1. このソフトの著作権は、日本国マックス株式会社にあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製する事はできません。
3. ソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セットの購入が原則です。
4. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用する事ができます。
5. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更する事があります。
6. このマニュアルで作成するサンプルに表示されている団体名、人名は架空のもので実存する団体・個人とは一切関係ありません。

Microsoft, Windows, は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Pentiumは米国Intel社の米国および他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

このソフトを使用できるパソコンについて

以下の条件に適合したパソコンをお使いください。下記以外のパソコンでの動作は保証しかねます。

共通の使用条件	「Designed for Windows」のロゴが表記されているDOS/V機 (NEC社 9800シリーズでは動作しません。) ※以下の動作環境はOSの制約により異なる場合があります。 クロック速度:150MHz以上のプロセッサ プロセッサ: Intel Pentium / Celeron 系列、AMD K6 / Athlon / Duronファミリ、またはこれらと互換のプロセッサ メモリ:64MB以上のRAM HDD:空き容量が100MB以上あること CD-ROMドライブを使用できること
必要なポート	USBポート (USBプロテクトキー用)
対応OS	Windows8 / 7 / Vista / XP *Vista/XPは32bit版のみ対応
対応OSに関する ご注意	※対応OSは、プリインストールマシンまたはクリーンインストールマシンに限って動作保証しております。 (アップグレード版は当社の動作保証外となります。) *プリインストールマシンとは、あらかじめパソコンメーカーがWindowsをインストールした状態で工場出荷しているパソコンです。 *クリーンインストールマシンとは、各Windows動作環境を満たしたパソコンを初期化してWindowsをインストールしたパソコンです。この場合OSが正常に動作することが確認されているパソコンに限ります。 *Windows Vista/XPの64Bit版/Windows Serverには対応しておりません。

インストールにあたっての注意点

本ソフト、及びプリンタドライバなどのインストールには、次の制約や注意事項があります。

注意事項・制約事項
<ul style="list-style-type: none">●インストールには「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログオンが必要です。●インストール後に再起動します。複数ユーザーでログオンしている場合は、他ユーザーがログオフしてから、管理者がインストールしてください。●ネットワーク (社内LAN/WANなど) に接続してお使いのパソコンにインストールする場合はネットワーク管理者へご相談ください。●必ず、添付のCD-ROMで起動するインストーラを使って、インストール、またはアンインストールしてください。

「Bepop PC Pro」のインストール

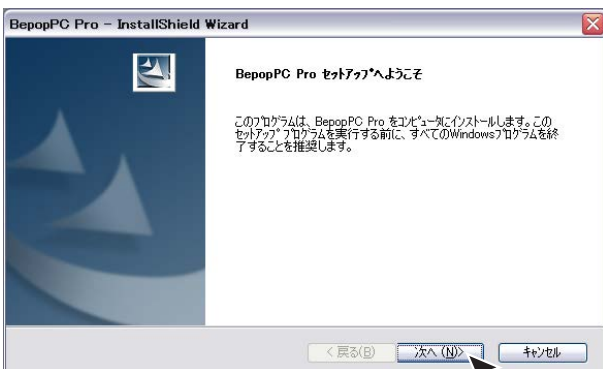
1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。

2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。Windows 8/7/Vistaの場合は、ユーザーアカウント制御画面で「続行」をクリックしてください。

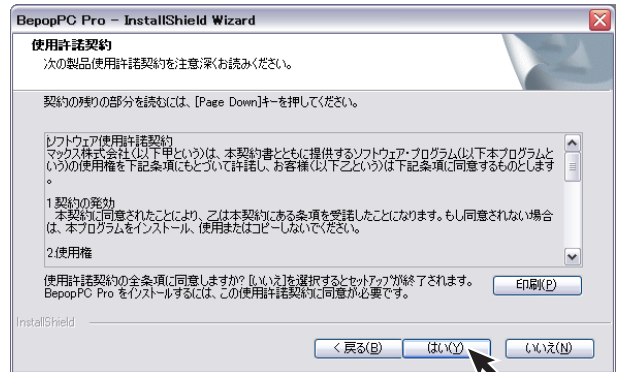
3 「Bepop PC Pro」のセットアップメニューが表示されます。
[BepopPCProのセットアップ]をクリックします。



4 [次へ]をクリックします。

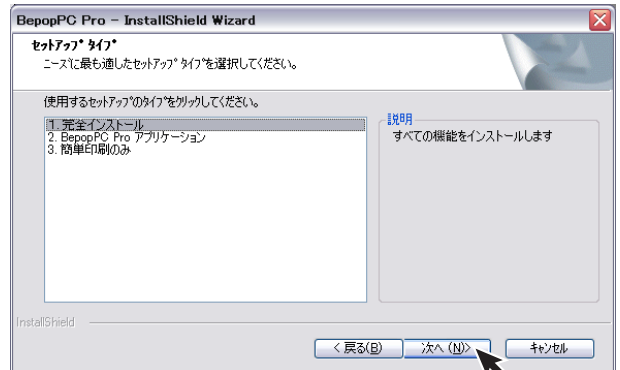


5 使用許諾をお読みいただき、ご同意いただいた上で [はい] をクリックします。



6 「1.完全インストール」を選択して[次へ]をクリックします。

- * 「1.完全インストール」ではすべてのファイルをインストールします。
- * 「BepopPC Proアプリケーション」を選択すると、「BepopPC Proアプリケーション」のみインストールします。
- * 「簡単印刷のみ」を選択すると「簡単印刷」アプリケーションのみインストールします。



7 [次へ]をクリックします。
(必要に応じてインストール先のフォルダを選択します。)



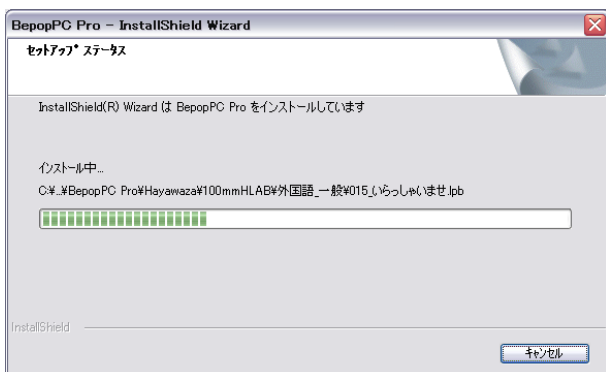
- 8 プログラムフォルダが「BepopPC Pro」になっていることを確認し、[次へ]をクリックします。



- 9 [インストール]をクリックします。



- 10 インストールを開始します。



- 11 インターネットに接続している場合は、「今すぐ登録」のチェックを確認して[完了]をクリックします。後で登録される方は12へ進んでください。



- 12 インターネットエクスプローラーが起動し、弊社のHPが開きますので、お客様登録をお願いいたします。

- 13 パソコンを再起動してお使いください。

USBプロテクトキーのインストール

「Bepop PC Pro」アプリケーションは、同梱のUSBプロテクトキーが必要です。

USBプロテクトキーが無い場合は、初めてインストールした日から累計14日間のみ使用可能ですがメニューを表示するたびにエラーメッセージが表示されます。

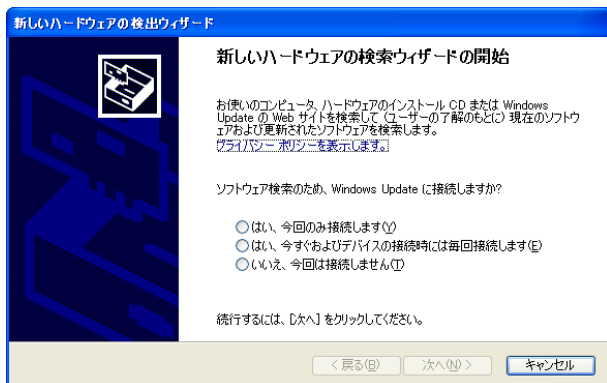
また、それ以降はご使用になれません。

「簡単印刷」アプリケーションをお使いの場合には、USBプロテクトキーは不要です。

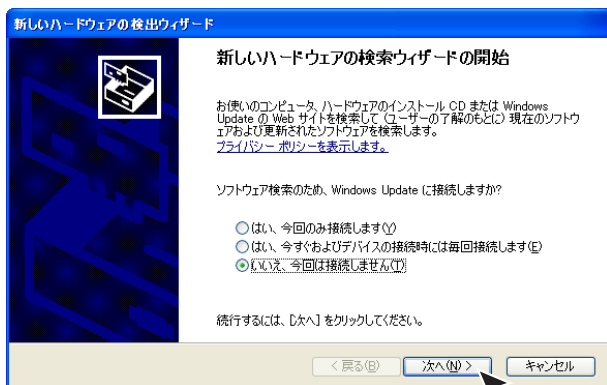
- 紛失された場合は、再発行できませんので大切にお取り扱いください。
- ご使用になるPCそれぞれにUSBプロテクトキーが必要です。
複数のPCでご使用になる場合は、購入販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

〈 WindowsXPの場合 〉

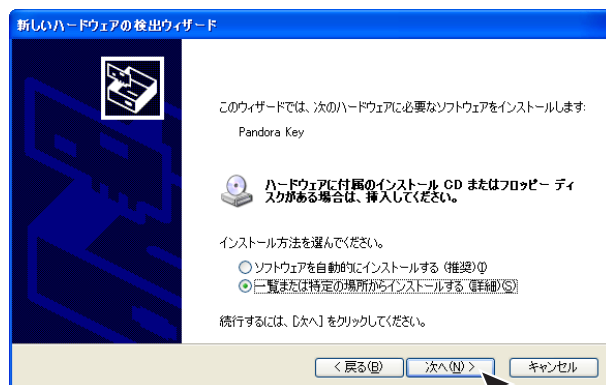
- 1 ご使用のUSBプロテクトキーをUSBポートに差し込むと、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。



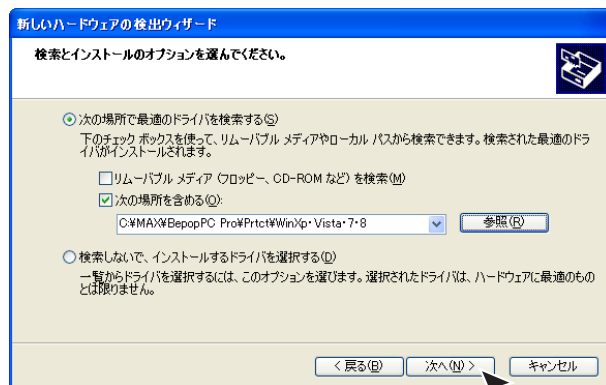
- 2 「いいえ、今回は接続しません。」を選択し、「次へ」をクリックします。



- 3 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



- 4 「参照」をクリックし、Bepop PCProがインストールされた、フォルダ内 (例,C:\¥MAX¥BepopPCPro¥) の「Prtct¥WinXp·Vista·7·8」を選択して「OK」をクリックします。
続いて下記の画面で、「次へ」をクリックします。



5 次のメッセージが表示された場合には、[場所]に「C:¥windows¥inf¥Pandora.inf」と記載されている方を選択し[次へ]をクリックします。

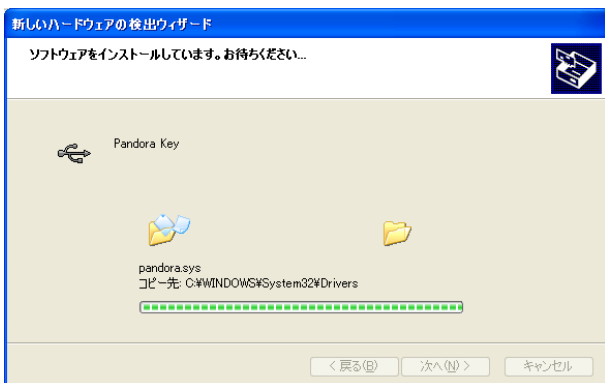


6 [ファイルが必要]の画面が表示された場合には、「参照」をクリックします。

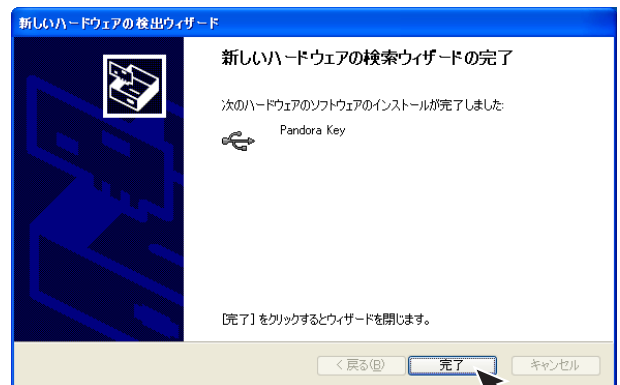


7 「4」と同じ、BepopPCProがインストールされた、フォルダ内 (例,C:¥MAX¥BepopPC Pro¥) の「Prtct¥WinXp·Vista·7·8」を選択して「OK」をクリックします。

8 インストールを開始します。

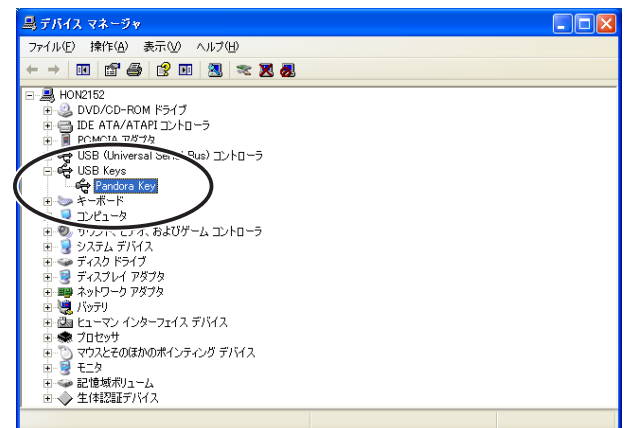


9 「完了」をクリックします。



10 パソコンを再起動します。

- * 正常にドライバーソフトウェアがインストールされると、USBプロテクトキーの先端のLEDが「緑」に点灯します。
- * 正常にドライバーソフトウェアがインストールされると、デバイスマネージャー上では、「USB Keys-Pandora Key」と表示されます。



*WindowsXPにて「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」の画面が表示されない場合には、次にご説明する「Windows8·7·Vistaの場合」の方法でもインストールすることができます。ただし、デバイスマネージャーの表示方法が異なり、ドライバーソフトウェアのファイル参照先が、BepopPCProがインストールされた、フォルダ内 (例, C:¥MAX¥BepopPCPro¥) の「Prtct¥WinXp·Vista·7·8」となります。

<Windows 8・7・Vistaの場合>

1 ご使用のUSBプロテクトキーをUSBポートに挿し込みます。「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示された場合には「キャンセル」をクリックします。

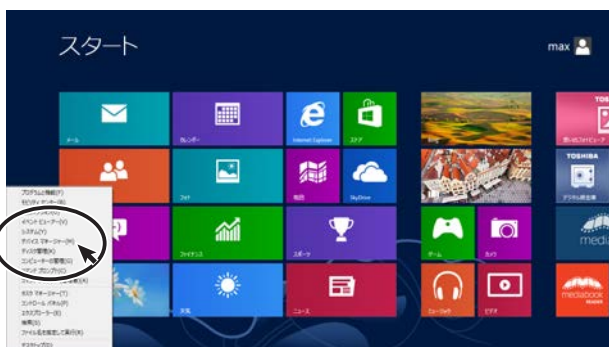
2 「デバイスマネージャー」の画面を開きます。

■Windows 7/Vistaの場合

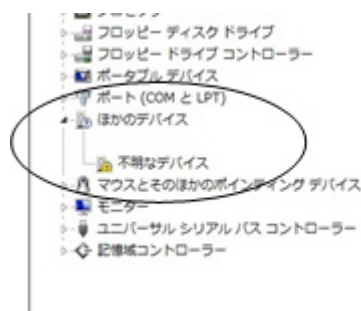
- 画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「コンピュータ」をクリックします。
- 開いた画面右上の方の「システムのプロパティ」をクリックします。
- 開いた画面右上の方の「デバイスマネージャー」をクリックします。

■Windows8の場合

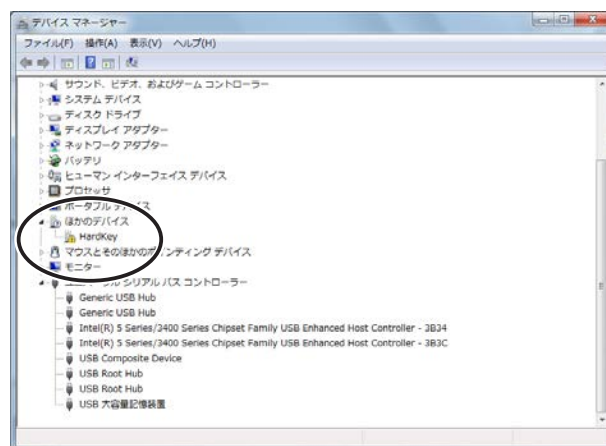
- 画面左下にカーソルを合わせ、右クリックします。
- 開いた画面の「デバイスマネージャー」をクリックします。



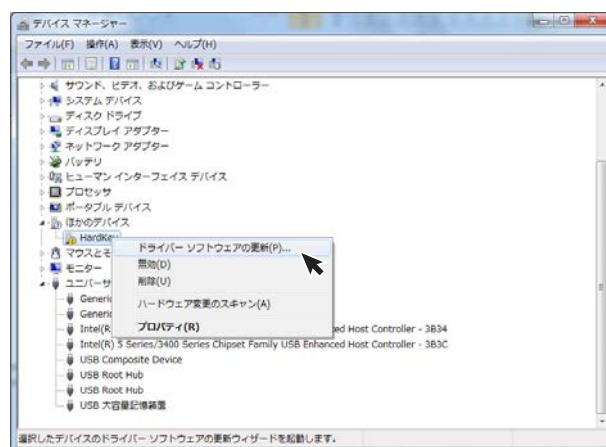
3 「ほかのデバイスー不明なデバイス」を探します。



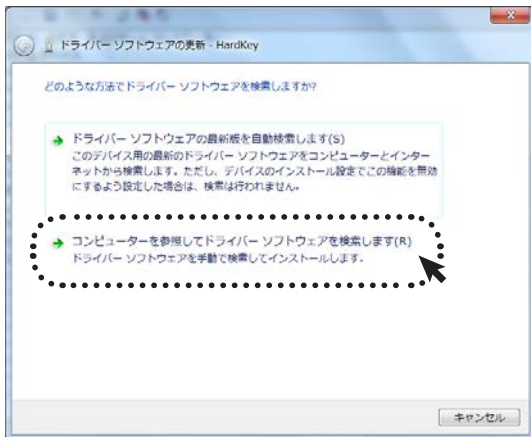
※ 「ほかのデバイスーHardKey」となる場合もあります。



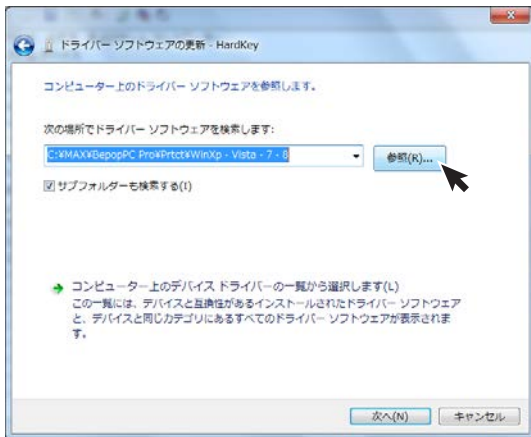
4 「不明なデバイス」にマウスを合わせて、右クリックし、「ドライバースoftwareの更新」をクリックします。



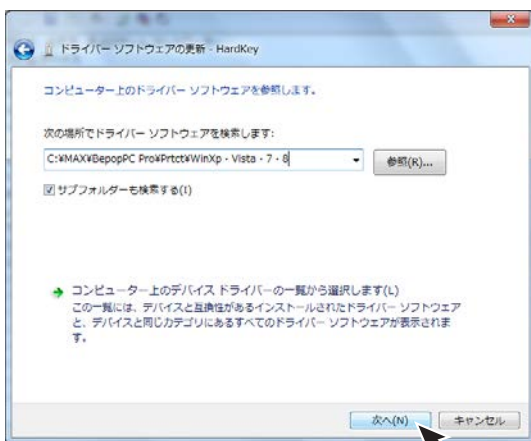
5 「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックします。



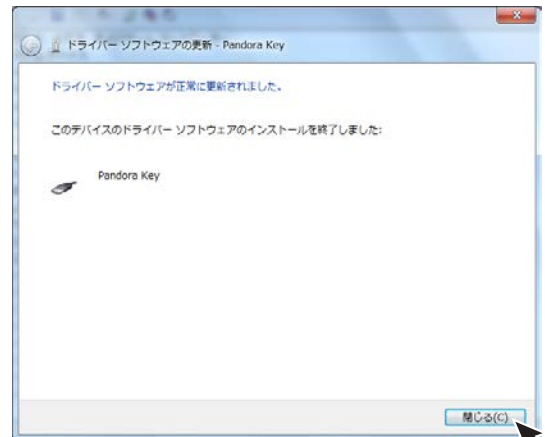
6 「参照」をクリックします。



7 「BepopPCPro」がインストールされた、フォルダ内(例、C:\MAX¥BepopPCPro¥)の「Prctct¥WinXp·Vista·7·8」(Windows7/8 64ビット版の場合は「Prctct¥Win7·8×64」)を選択し、「サブフォルダも検索する」はチェックを付けた状態で、「次へ」をクリックします。

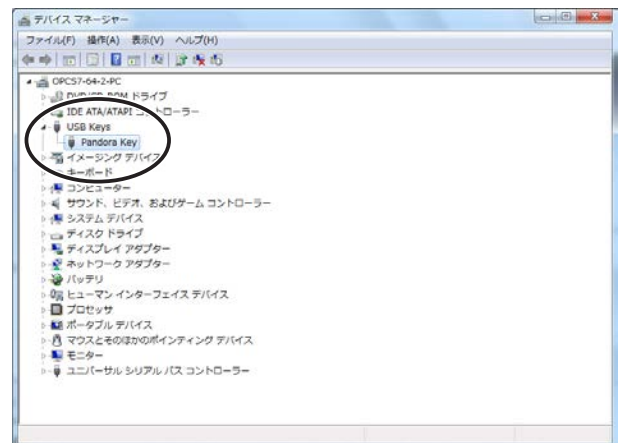


8 インストールを開始し、ドライバーソフトウェアが正常に更新されたら、「閉じる」をクリックします。



9 パソコンを再起動します。

- *正常にドライバーソフトウェアがインストールされると、USBプロテクトキーの先端のLEDが「緑」に点灯します。
- *正常にドライバーソフトウェアがインストールされると、デバイスマネージャー上では、「USB Keys-Pandora Key」と表示されます。



プリンタドライバのインストール

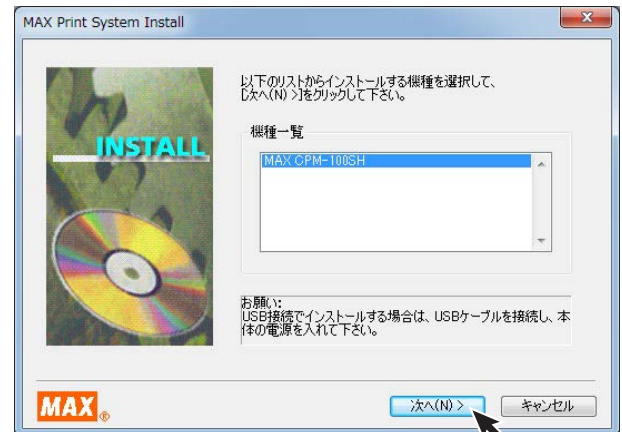
- 1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。
- 2 本体とパソコンをご使用になるケーブルで接続し、本体の電源を入れます。
- 3 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。Windows 7/Vistaの場合は、ユーザーアカウント制御画面で「続行」をクリックしてください。
- 4 [プリンタドライバのセットアップ] をクリックします。



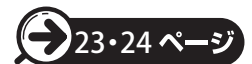
- 5 「ドライバのインストール」をクリックします。



- 6 「機種一覧」からCPM-100SHを選択し、[次へ]をクリックします。



- 7 <USBケーブル接続で使用する場合><LANケーブル接続で使用する場合>いずれかにしたがってインストールを行ってください。



【以降の手順で表示されるメッセージについて】

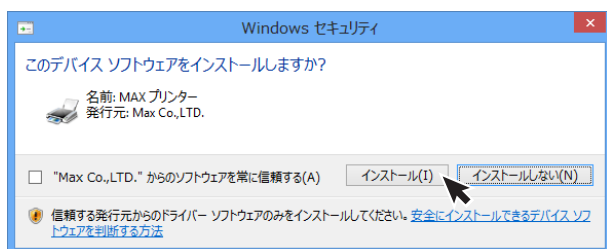
※以降の手順を進める中で次のようなメッセージが表示されますが、本製品は、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので問題なくお使いいただけます。

メッセージが表示されましたら【インストール】または【このドライバソフトウェアをインストールします】または【続行】をクリックします。

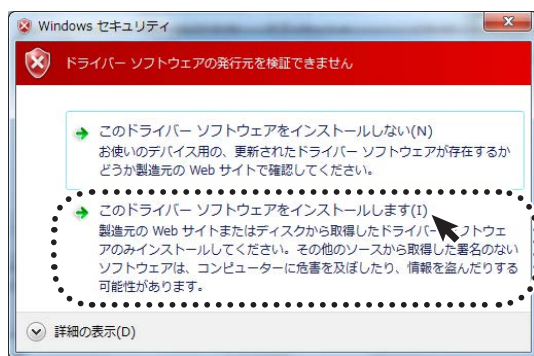
※以下の手順説明ではこのメッセージは省略して説明しています。

※お使いの機種や使用環境によりメッセージの表示内容、表示順が異なる場合があります。

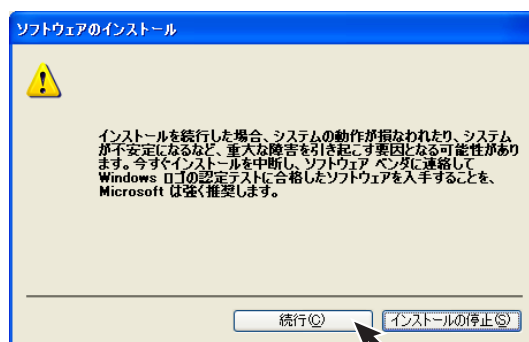
■Windows 8で表示されるメッセージ



■Windows 7/Vistaで表示されるメッセージ



■WindowsXPで表示されるメッセージ



※上記確認画面にて【インストール】または【このドライバソフトウェアをインストールします】または【続行】をクリックするまでの時間が長かったり、USB接続の場合、本体を接続して電源を入れるまでの時間が長かったり場合、インストールに失敗することがあります。この場合は、一度インストールしてから、再度インストールを行ってください。

〈 USBケーブル接続で使用する場合 〉

- 1 USBケーブルにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

※USBケーブルは接続したままの状態です。



- 2 [インストール] をクリックします。



- 3 自動でドライバおよびポートモニタのインストールが始まります。

※ (応答なし) と表示されることがありますが、そのままお待ちください。



- 4 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、[完了] をクリックします。

※インストール開始時に終了していないアプリケーションソフトがある場合は[いいえ]をクリックし、アプリケーションを終了させた後パソコンを再起動してください。



- 5 再起動後、お使いになれる状態になります。

※再起動しないと「Bepop PC Pro」及び本体が正常に動作しません。必ず再起動を行なってください。

〈 LANケーブル接続で使用する場合 〉

- 1 LANケーブルにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 2 [インストール] をクリックします。



- 3 自動でドライバおよびポートモニタのインストールが始まります。

※ (応答なし) と表示されることがありますが、そのままお待ちください。



- 4 パソコン側のポート名とIPアドレスを設定します。ポート名とIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

※使用するIPアドレスについてはネットワーク管理者の方にお問い合わせください。

※ここで入力するIPアドレスは、ご使用になるパソコンのIPアドレスの上位9桁(3桁区分3個目まで)とあわせる必要があります。最後の3桁は他の接続機器と競合しない空き番号を割り当てます。

※複数の本体を使用する場合は、異なるポート名と、IPアドレスを設定します。



- 5 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、[完了] をクリックします。

※インストール開始時に終了していないアプリケーションソフトがある場合は [いいえ] をクリックし、アプリケーションを終了させた後パソコンを再起動してください。



- 6 再起動します。

※再起動しないと「Bepop PC Pro」及び本体が正常に動作しません。必ず再起動を行なってください。

- 7 プリンタ本体のIPアドレスの設定が必要です。「CPM-100SH本体のIPアドレス設定」にしたがって設定してください。

CPM-100SH 本体のIPアドレス設定

CPM-100SHはLAN接続が可能です。
LANでお使いになる場合はIPアドレスの設定を行います。

LAN接続時の制約事項

CPM-100SHをLAN接続してお使いになる場合、パソコンへのインストール時にネットワーク管理者にご相談ください。

■ネットワーク管理者の方へのお願い事項

CPM-100SHはLANに接続してお使いいただけます。
以下にしたがってインストールしてください。

- 本体のIPアドレスなどの工場出荷時の値は、次の通りです。

設定項目	工場出荷時
IPアドレス	192.168.11.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

※次のIPアドレスは設定できません。

- ①0.0.0.0 (全て0)
 - ②255.255.255.255 (全て255)
 - ③127.x.x.x, x.x.x.x.x.x (ループバックアドレス群)
 - ④x.x.x.x.x.x, x.x.x.x.255 (サブネットブロードキャスト)
- 本体の設定変更のしかたは「**本体のIPアドレスを設定する**」を参照してください。



- インストール及び使用には「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログインが必要です。
- インストール後に再起動します。複数ユーザーでログインしている場合は、管理者のみとし、他ユーザーはログオフしてからインストールしてください。

MEMO

- DHCPの自動取得、及びSNMPによる管理には対応していません。
- USB接続でローカルプリンタとしてインストールした「CPM-100SH」プリンタドライバとは、インストーラを使って共存させたインストールをすることはできません。

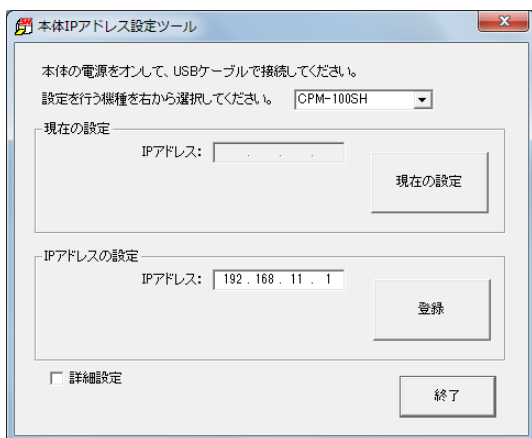
本体のIPアドレスを設定する

※本体のIPアドレス設定は、CPM-100SH本体とパソコンをUSBケーブルで接続して行います。

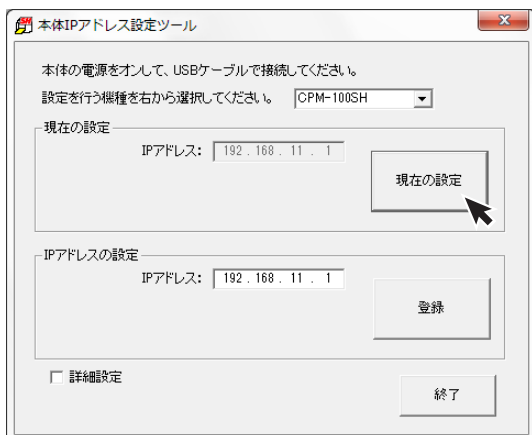
- 1 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
- 2 「Bepop PC Pro」のセットアップメニューが表示されます。[IPアドレス設定] をクリックします。



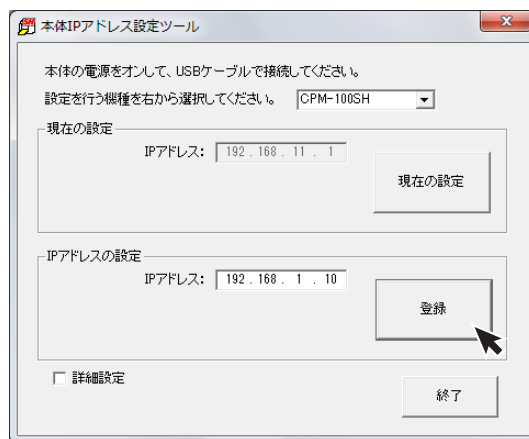
- 3 本体のIPアドレス設定ツールが表示されます。本体の電源を入れUSBケーブルで接続し、設定を行う機種を選択してください。



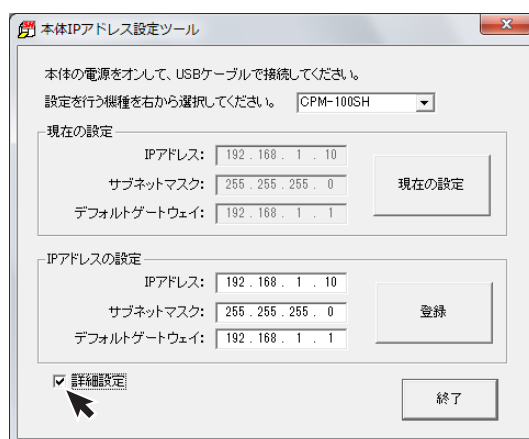
- ※画面にはIPアドレスの初期値が表示されます。
- ※ [現在の設定] をクリックすると、現在接続されている機種のIPアドレスを確認することができます。



- 4 IPアドレスを入力し [登録] をクリックします。次に [終了] をクリックすれば本体のIPアドレスの設定は終了です。IPアドレスはプリンタドライバのインストール時に設定したアドレスを入力してください。



※ [詳細設定] をチェックすると、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの変更が行えます。



以上で本体のIPアドレスの設定は終了です。

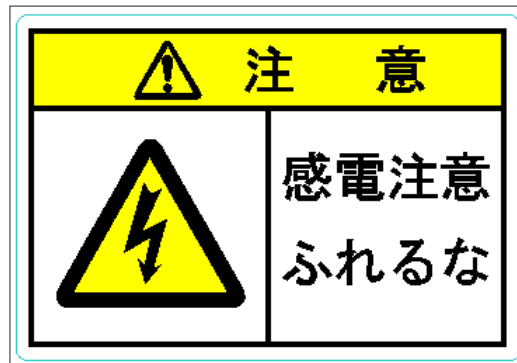
まず使ってみましょう

ラベルレイアウトを作成する

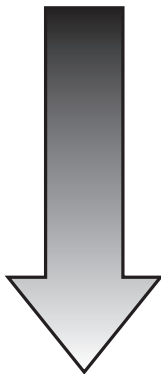
CPM-100SHを使ったラベルの作成手順を説明しています。

あらかじめ、別冊のインストールマニュアルにしたがってBepop PC Proおよびプリンタドライバをインストールしてからお試しください。

以下のようなカラフルなラベルを作成してみましょう。



全体の流れ



- 1 電源を入れる
- 2 シンボルを入れる
- 3 文字を入力する
- 4 表枠を挿入する
- 5 塗りつぶしをする
- 6 カット枠を挿入する
- 7 シートの種類を選択し、ラベルを出力する

MEMO

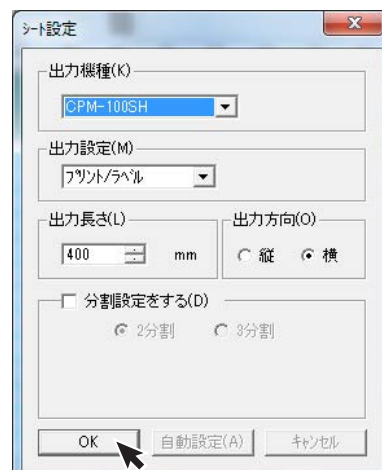
☆あらかじめラベルの大きさが決まっている場合は、2 ~ 6 の手順を逆にしても作成し易いです。

1 電源を入れる

電源を入れて、Bepop PC Proを起動してください。


複数機種を使用されている場合は“シート設定画面”が表示されます。

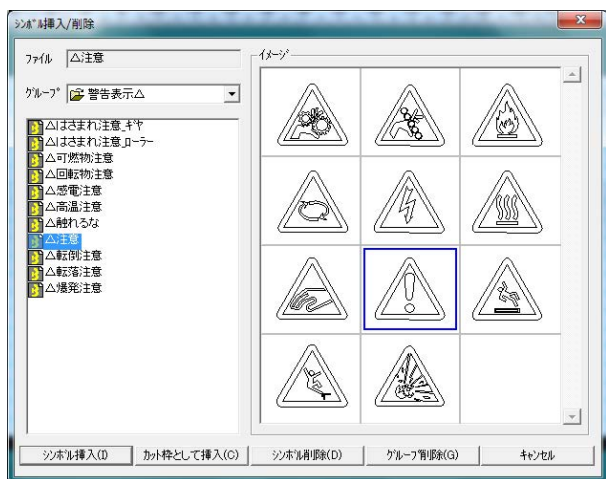
出力機種を「CPM-100SH」、出力設定を「プリント/ラベル」にして[OK]ボタンをクリックします。



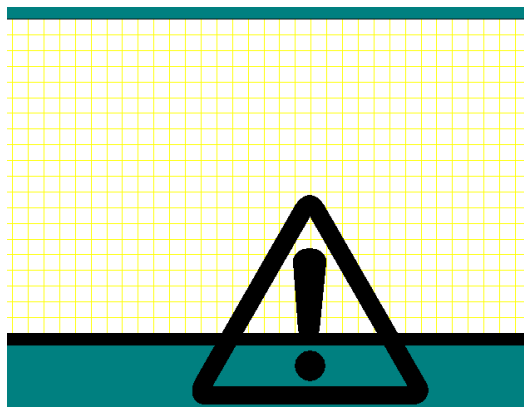
「ケーブルをつなぐ」を参照

2 シンボル (ピクトサイン) を入れる

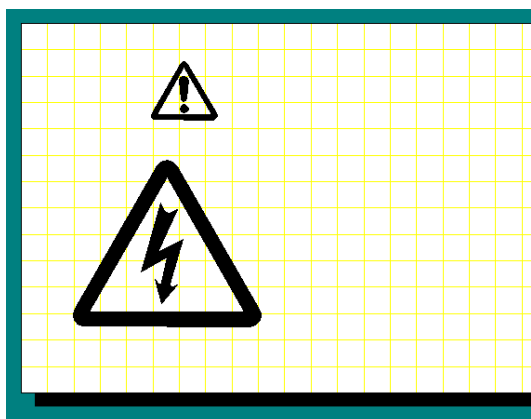
- 1  (色のついていない方) をクリックして“シンボル挿入”画面を開きます。
- 2 グループは「警告表示△」、シンボル名は「△注意」を選択します。



- 3 [シンボル挿入]ボタンをクリックすると、レイアウト画面にシンボルが貼り付きます。

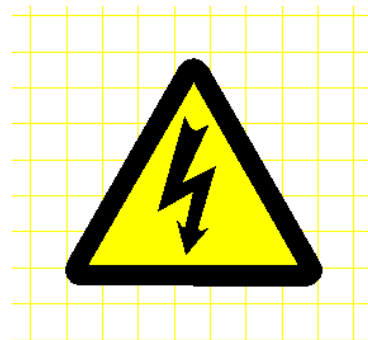
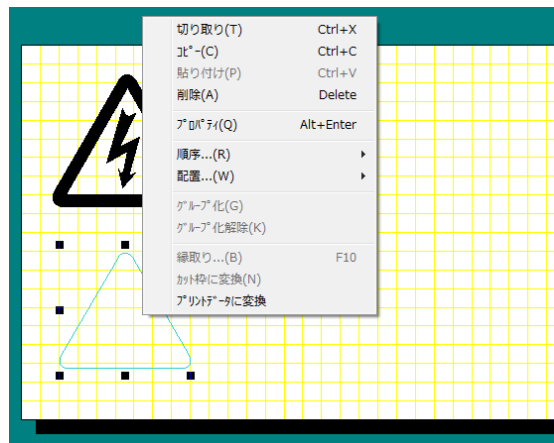


- 4 シンボルのまわりの黒い■をドラッグして大きさやレイアウトを調整します。
- 5 手順 1 ~ 4 を繰り返して、グループは「警告表示△」、シンボル名は「△感電注意」を挿入します。



MEMO

シンボルの背景を塗りつぶす場合は、シンボルと同枠(この場合は△)のカット枠を作成し、プリントデータに変換し、色・配置・順序の設定をおこないます。プリントデータへの変換は、オブジェクトを選択し、「オブジェクト」(または右クリック)→「プリントデータに変換」をクリックします。



(調整後)

3 文字を入力する

1 画面下部の色の中から、黒色をクリックします。



2 **A** をクリックしてテキストボックスを選択し、文字を書きたい範囲を編集画面上にドラッグします。

3 「テキストボックスのプロパティ」が開きます。

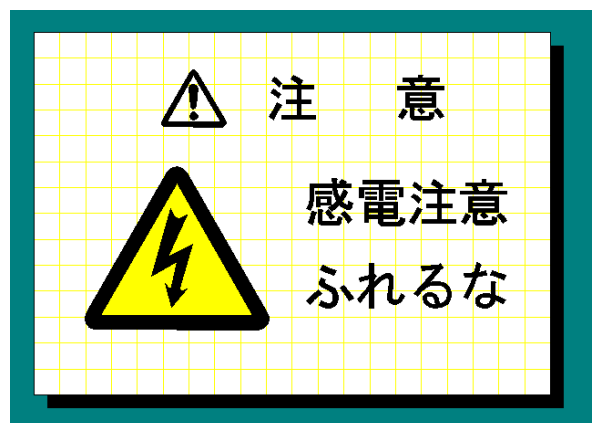


4 「注意」と文字を入力し、フォントの「MSゴシック」を選択します。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 手順 1 ~ 5 を繰り返し、「感電注意 (ENTERキー) ふれるな」と入力します。

7 大きさやレイアウトを調整します。



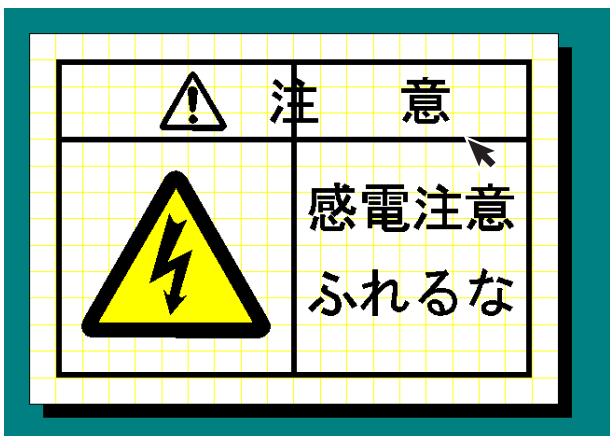
4 表枠を挿入する

1  をクリックして、枠を挿入したい範囲を編集画面上にドラッグします。

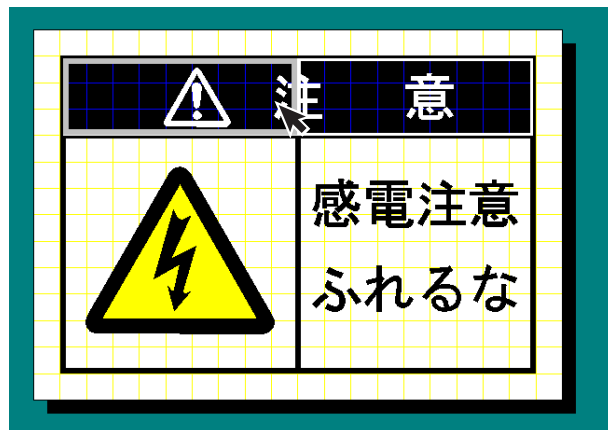
2 「表枠のプロパティ」が開きます。
そのまま[OK]ボタンをクリックしてください。



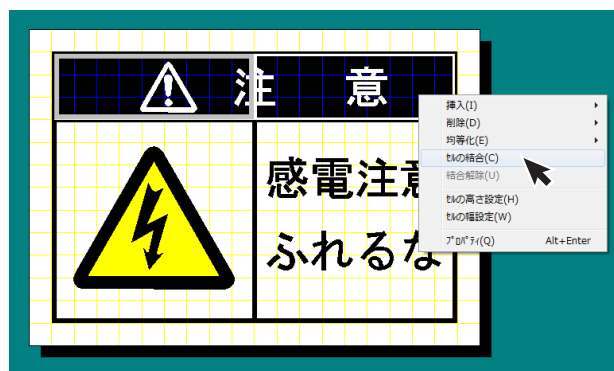
3 表枠の大きさと位置を合わせ、表枠全体を選択します。
次にライン上にマウスを合わせ、ドラッグして縦・横のラインの位置を調整します。



4 表枠が選択された状態で、上の2マスの片方を一度クリックしてから、もう片方のマスまでドラッグしてください。

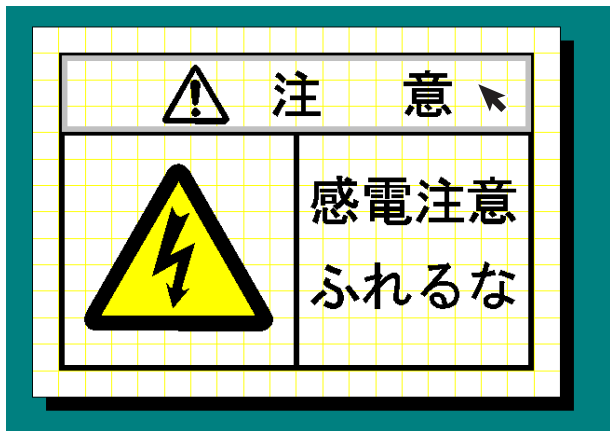


5 右クリックして[セルの結合]を選択してください。

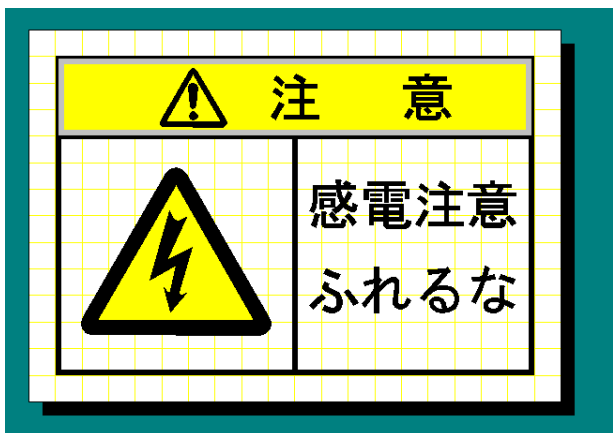


5 塗りつぶしをする


1 塗りつぶす枠をクリックします。



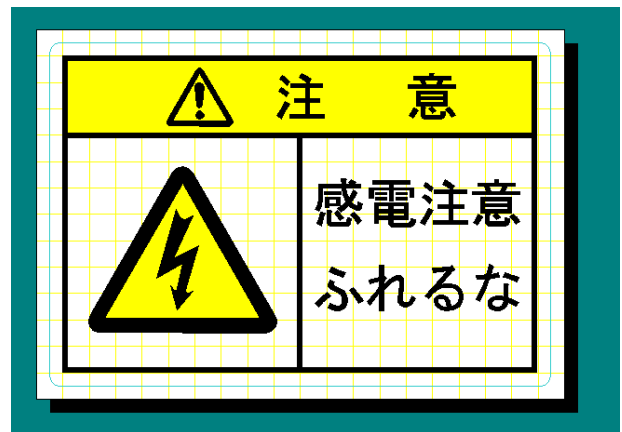
2 画面下部の色 (カラーバー) の黄色を選択します。



6 カット枠を挿入する

1 カット枠バーの  (カット枠角丸四角) を選択します。

2 カットしたい大きさにドラッグします。
(挿入した後にカット枠をダブルクリックし、直接大きさを入力する事もできます)



7 シートの種類を選択し、印刷する

Bepop本体に出力する

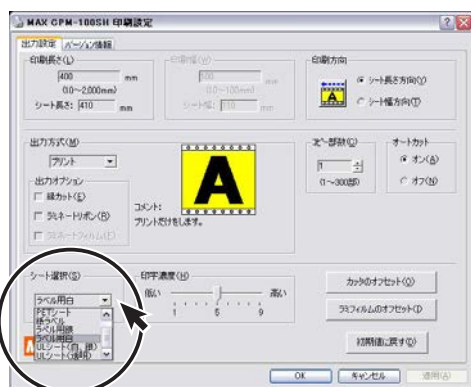
1 本機にシートとインクリボンをセットします。

2  をクリックします。

※複数色の印刷を行う場合は、[カラフル印刷する]ボタンをクリックしてください。

3 [プロパティ]をクリックします。

左下「シート選択」の項目の▼を押します。
印刷しようとしているシートの種類を選んでください。



シート種類	対象シート	商品名
通常シート	標準色シートのうち塩ビのもの	下記 商品以外のシート
透明シート	透明塩ビシート	SL-S110CNTウメイ
PETシート	環境対応シートのPETシルバー	SL-S152N PETシルバー
紙ラベル	紙ラベル用シート	SL-S181PN カミラベル
ラベル用銀	ラベルPET銀シート	SL-S154NラベルPETギン(つや消し)
ラベル用白	ラベルPET白シート	SL-S153NラベルPET白
ULシート(白・銀)	UL用 白・銀シート	SL-S193N/ULシロ SL-S194N/ULギン
ULシート(透明)	UL用 透明シート	SL-S190N/ULTウメイ

OKボタンを押してください。

MEMO

●実際にセットされているラベルと違うシート選択がされていると、カスレなど印字不良につながります。必ずセットされているシートと選択されているシートが同じ物かご確認ください。

4 [印刷/出力実行]ボタンをクリックします。



5 出力を開始します。初期動作後(19cmほどシートを送ってから元に戻る)、黒部分の印刷が始まります。

6 印刷が止まり、シートの巻き戻しが始まった後、ドアカバーを開き、一色目のリボンカセットをはずして二色目のリボンカセットをセットします。(巻き戻しの最中でもリボンカセットの交換は可能です。)

7 ドアカバーを閉めると自動で赤部分の印刷を開始し、ハーフカット、フルカットを行ない、カラフルラベルが完成します。



※作画データにない色のリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、使用した色のリボンに交換してください。「印刷続行」をクリックするとそのまま印刷を開始します。



MEMO

UL対応シートをお使いになる場合、必ずUL専用インクリボン (SL-R191T ULヨウクロ) をお使いください。違うインクリボンをお使いになると、カスレや印字不良につながるだけでなく、UL969規格の認証対象外となりますのでご注意ください。

※UL対応シートとUL専用以外のインクリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、「印刷中止」ボタンを押して対処方法したがってやり直してください。




※通常シートとUL専用インクリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。



※UL対応シートでカラフル印刷はできません。UL969認証対象外となります。

シートの残量を確認する

CPM-100SHのステータスマニタ上で、本体にセットされたシートの残量を確認することができます。出力する長さに対しシートが足りるかどうかあらかじめ確認したり、シートの補充や管理に活用でき便利です。

- 1 パソコン右下の  アイコンをダブルクリックし、ステータスマニタを表示させます。
- 2 [シート残量取得] ボタンをクリックします。シート送り動作を行い残量を取得します。
- 3 おおよそのシート残量が表示されます。



MEMO

- シートの残量は、残りメーター数とセットの状態により、15~30cm程度実際の長さとは異なって表示される場合があります。また、ロールから切り離れたシートは正しく残量が表示されません。
- 必ずCPM-100SHに対応したシートをご使用ください。

印字濃度を調整する

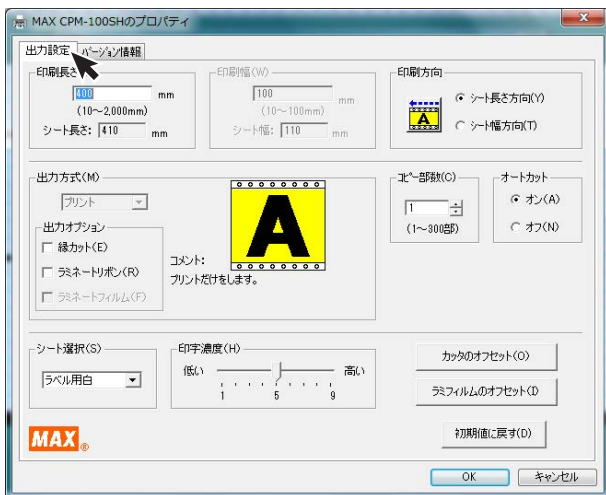
本機で印刷する印字濃度を調整できます。印刷がカスしている場合や小さい文字がつぶれている場合は、パソコン上のプリンタドライバのプロパティで印字濃度を調整してください。(専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。)

1 Bepop PCProのメニューバーから「ファイル」→「印刷」を選びます。(印刷アイコンのクリックでも可)

2 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。



3 プリンタドライバのプロパティの「出力設定」画面である事を確認します。



4 印刷濃度のスライダーを1目盛ずつ変えて設定し、[OK] ボタンをクリックします。

気温(室温)が高くて、印字物が右の図のようになった時は、印字濃度を「低い」へ1目盛ずつ設定を変えてください。



気温(室温)が低くて、印字物が右の図のようになった時は、印字濃度を「高い」へ1目盛ずつ設定を変えてください。



5 実際に印刷を行わないながら、適切な設定にしてください。

お願い

☆気温の低い場所では印字先端部のインクの転写性が悪くなり、印字品質が劣化する場合があります。暖かい場所(15℃以上を推奨)でご使用ください。

ラミネートフィルムを使う

ラミネートフィルムの設定

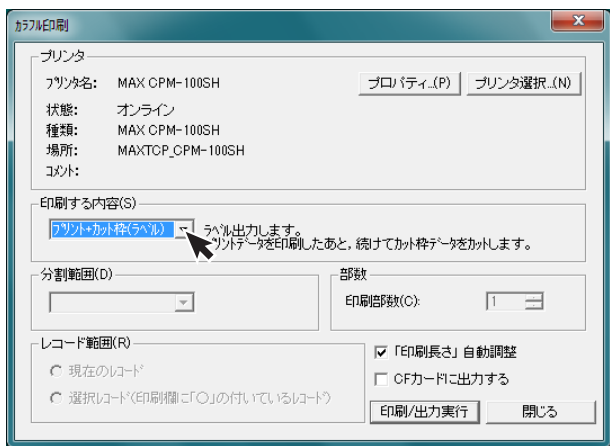
本機では、ラミネートフィルムを印刷したシートの上に貼り付けることで、こすれや薬品に強く、文字の消えにくいラミネートラベルを作ることができます。

- ラミネートフィルム(別売)が別途必要です。
- また、パソコン上のプリンタドライバのプロパティで次の設定をします。
(専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。)

- 1 BepopPCProのメニューバーから「ファイル」→「印刷」または「カラフル印刷」を選びます。

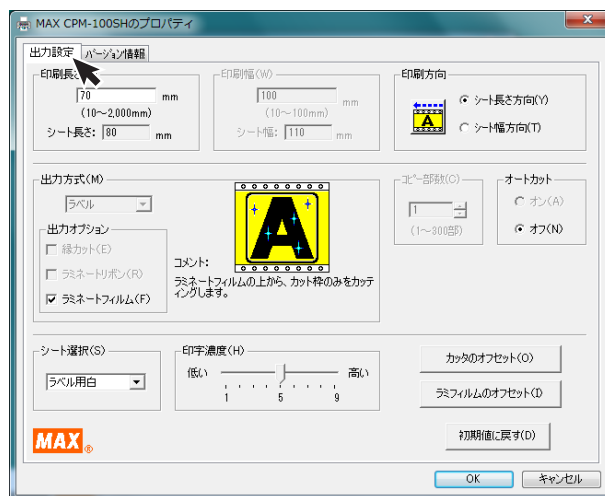


- 2 印刷ダイアログで「印刷する内容」の▼をクリックし、「プリント+カット枠(ラベル)」を選びます。



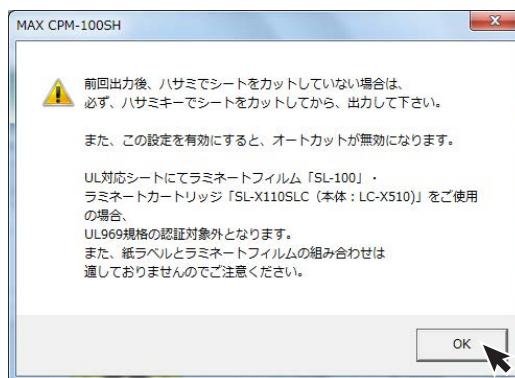
- 3 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。

- 4 プリンタドライバの「出力設定」画面の「出力オプション」欄の「ラミネートフィルム」にチェックします。



- 5 ラミネートフィルムモードについての注意メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

※前回出力後、ハサミでシートをカットしていない場合は、必ずハサミキーでシートをカットしてから出力してください。



- 6 プリンタドライバプロパティウィンドウの詳細設定タブに戻ります。[OK] をクリックします。

- 7 印刷ダイアログで「印刷/出力実行」ボタンをクリックすると印刷を開始します。

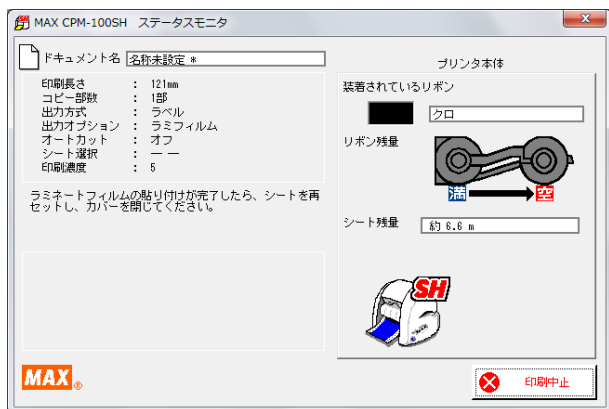
8 印刷が終了したら、シートがハサミでカットされます。本体からシートを取り外し、印刷部分の上にラミネートフィルムを貼り付けます。

※このとき、シートからラミネートフィルムがはみ出さないようにまっすぐに貼り付けてください。

シートからはみ出して貼り付けた場合、正常に動作しないことがあります。

※ラミネートフィルムの貼り付け方法につきましては「ラミネートフィルムの貼り付け」をご参照ください。

9 セットされているシートをスプロケットから外し、ラミネートフィルムを貼り付けたシートを再度本体にセットしてください。



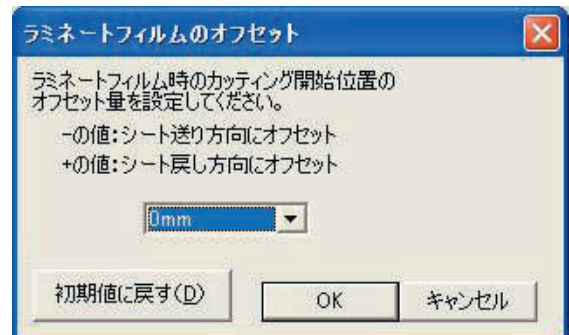
10 ドアカバーを閉じると自動でカット枠のカットを開始します。

11 カットが終了すると自動的にシートが送られシート出口から排出されます。

※ラミネートフィルムモード実行後は、オートカットの設定が無効になっています。オートカットを有効にするためには、次回印刷時にプリンタドライバプロパティの出力設定タブでラミネートフィルムの設定を解除した後、オートカットの設定を「オン」にしてください。

ラミネートフィルムのオフセット設定

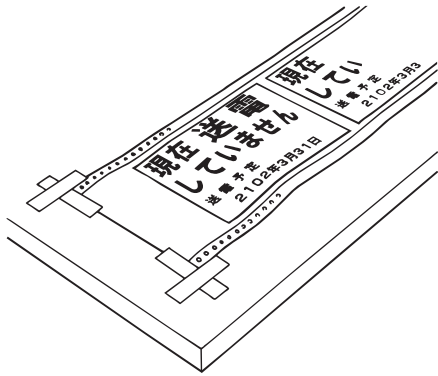
ラミネートフィルムモードでは、カッティング開始位置の調整が行なえます。印刷とカットのずれがある場合に設定してください。



ラミネートフィルムの貼り付け

あらかじめ必要な長さのラミネートフィルムを用意してください。貼り付けの際はラミネートフィルムがシートからはみ出したり、気泡が混入したりしないよう注意して貼り付けてください。

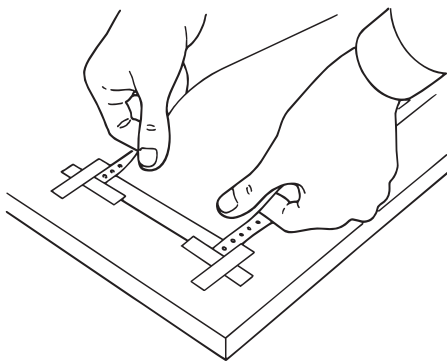
- 1 印刷済みのシートを紙テープ等で台の上に固定します。



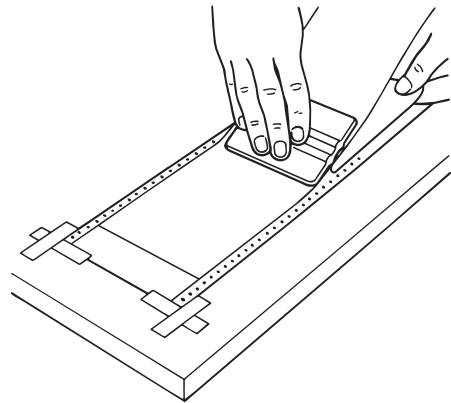
- 2 その上に剥離紙をつけたままのラミネートフィルムを重ね合わせ、平行にそろえます。

- 3 ラミネートフィルムの先端約2cmだけ剥離紙をはがし、裏に折り曲げます。

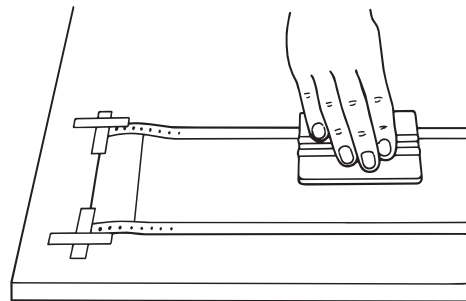
- 4 はがした2cmのラミネートフィルムを印刷済みシートの先端に合わせて貼り付けます。



- 5 はがした2cmの剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を本体付属のスキージで圧着していきます。



- 6 スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



お願い

- ☆ラミネートフィルムは文字を消えにくくするための保護フィルムです。全ての薬品、全ての環境での性能を保証するものではありません。
- ☆ラミネートフィルムを使用して作成された成果物は、お客様ご自身が評価を行なった上でご使用ください。
- ☆貼り付けは10℃以上の温度下で行なってください。
- ☆貼る面の汚れをキレイに拭き取ってから貼り付けてください。
- ☆ラミネートフィルムでシート両端の穴をふさいだり、シートからはみ出したりしないように貼り付けてください。シートからはみ出して貼り付けた場合、正常に動作しません。
- ☆貼り付け後、スキージを使い、十分に圧力をかけて密着させてください。
- ☆ラミネートフィルムは本体のハサミを使ってカットしないでください。本体のハサミでカットした場合、ハサミに粘着材が付着し、切れが悪くなったり、故障の原因となります。

MEMO

☆簡単な操作でラミネート加工が行なえる専用ラミネートキットLC-X510 (別売) がございます。
詳しくはマックスお客様相談ダイヤル0120-510-200にお問い合わせください。

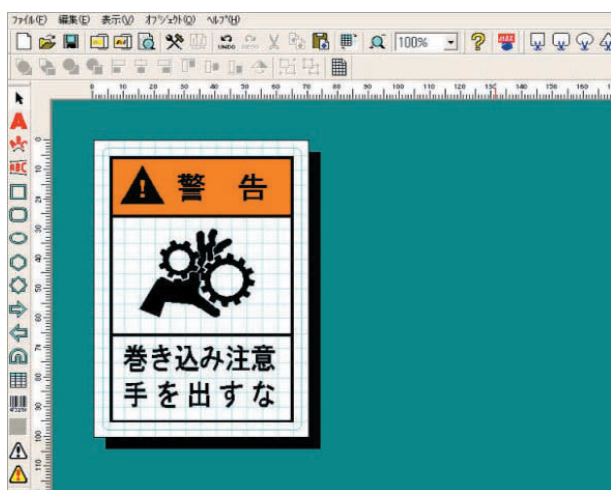
ラミネートリボンを使う

本機では、ラミネートリボンを使うことで印刷した上に薄い保護層を作り、こすれに強い文字の消えにくいラベルを作ることができます。

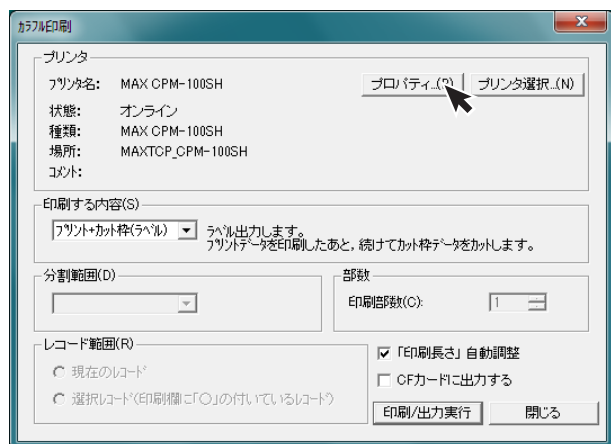
この機能を使うためには、

- ラミネートリボン (別売) が別途必要です。
- また、パソコン上のプリンタドライバのプロパティでつぎの設定をします。
(専用キーボードLC-KB1000をお使いの場合は、LC-KB1000の取扱説明書をご参照ください。)

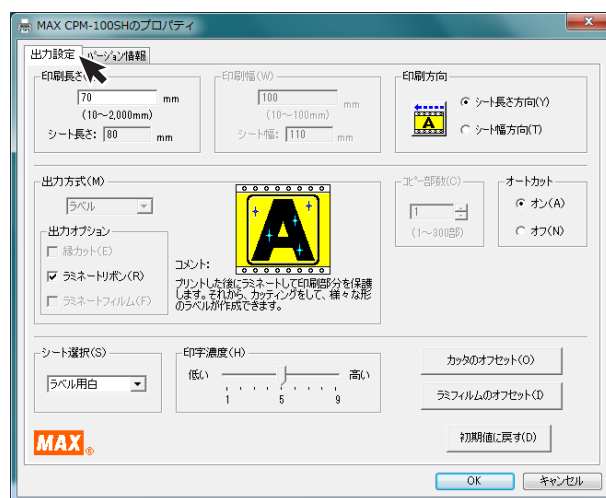
- 1 BepopPCのメニューバーから「ファイル」→「印刷」または「カラフル印刷」を選びます。



- 2 印刷ダイアログの [プロパティ] をクリックします。

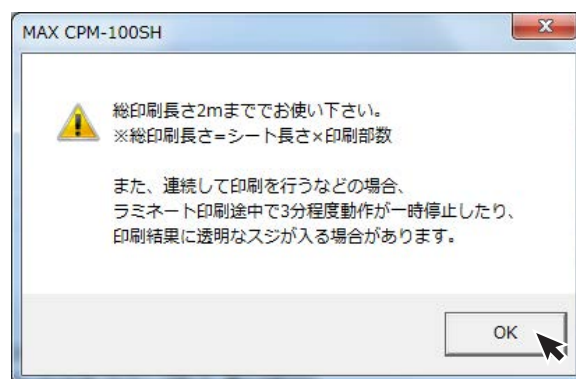


- 3 プリンタドライバの「出力設定」画面の、「ラミネートリボン」にチェックします。



- 4 ラミネートリボン印刷についての注意メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

※ラミネートリボン印刷する場合、総印刷長さ (=シート長さ×印刷部数) は2mを超えることはできません。



- 5 プリンタドライバプロパティウィンドウの出力設定タブに戻ります。[OK] をクリックします。

- 6 印刷ダイアログで [印刷/出力実行] ボタンをクリックすると印刷を開始します。

お願い

☆ラミネートリボン印刷内容は消えにくくなる機能です。文字が消えないことを保証するものではありません。

☆ラミネート印刷は30℃以下の環境でご使用ください。

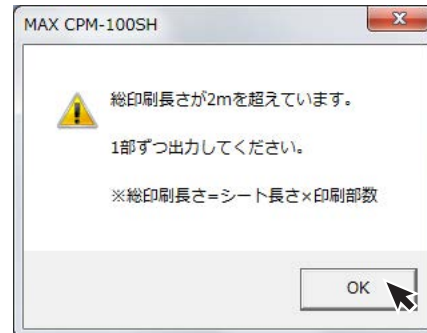
☆グレイリボン、白リボンで印刷した部分には、ラミネートリボンは十分な機能を発揮しない場合があります。

☆総印刷長さが2mを超える場合、印刷されず次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、レイアウト画面に戻ります。

※ (総印刷長さ) = (シート長さ) × (印刷部数)

例. シート長さ40cm × 印刷部数6部 = 総印刷長さ
240cm > 2mとなり、メッセージが表示されます。

※確実にラミネートリボン印刷するために、印刷部数は
1枚単位で出力してください。



☆ラミネートリボン印刷中にサーマルヘッドの温度上昇により一時停止する事があります。

※本体LEDランプが緑の長短点滅(短い点灯と長い点灯を交互に繰り返します)状態になります。

しばらく(3分程度)待ってください。温度が下がり次第、自動で印刷を再開します。又、パソコン画面上にエラーメッセージが表示された場合(タイムアウトメッセージ)、メッセージボタンをクリックせずに、印刷が再開されるまでそのままお待ちください。

切り文字 (カッティング) レイアウトを作成し、カットする

CPM-100SHでは、切り文字 (カッティング) も作成できます。

本章ではBepop PC Proの操作と、実際の作業手順をご確認頂けます。

- 1 本体の電源を入れて、Bepop PC Proを起動してください。



「ケーブルをつなぐ」を参照してください。

2 文字を入力する

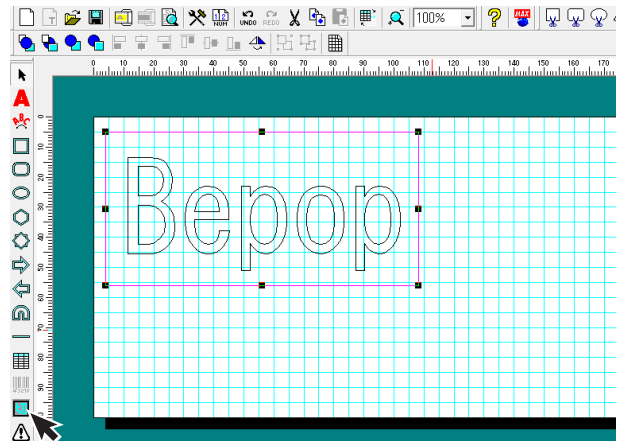
- ① 「ファイル」→「シート設定」でシート設定画面を開き、出力設定のリストから、「カッティング」を選択し、[OK]を押してください



- ② **A** を選択し、編集画面上でドラッグし、プロパティ画面が開いたら、文字を入力します。



- ③ カス取りがし易いように、**A** をクリックしてから編集画面上をドラッグし、文字の周りに枠切りを設定します。



- ④ **A** をクリックし、[印刷/出力実行]をクリックすると、カッティングを開始します。



- 3 カットした文字を貼り付けます。

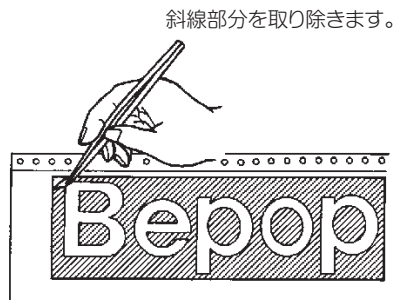


「カットした文字を貼り付ける」を参照してください。

カットした文字を貼り付ける カス取り

文字のカットが終了したら、転写できるようにするために次のような手順で作業を行います。

- 1 文字をカットしたら、文字に必要なのない部分の取り除き作業を行います。この作業は、シートを送り出し、カットしてから行ってください。

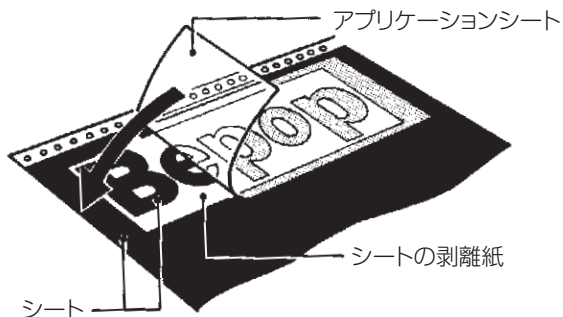


※不要な部分の取り除き作業は、付属のピンセットや市販のカッターをお使いください。

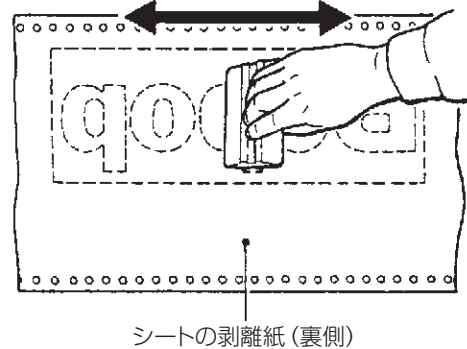
転写

カットした内容のレイアウトのまま張り付けられるように、アプリケーションシートに写し取ります。

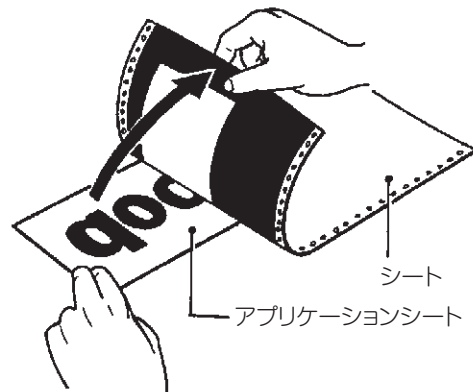
- 1 アプリケーションシートを適当な大きさ（枠切りのサイズより多少大きめ）にカットします。アプリケーションシートを剥離紙からはがし、カットした文字の上にしわにならないように貼り付けます。



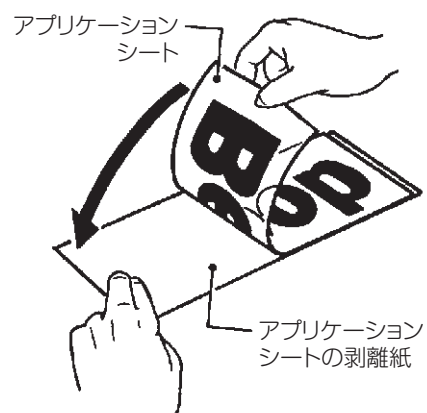
- 2 アプリケーションシートの上から擦って文字を転写します。転写しづらいときは、裏に返してシートの剥離紙側から擦ってください。



- 3 アプリケーションシートを下にしてシートの剥離紙を丸めながらはがし、文字をアプリケーションシートへ転写します。



- 4 そのまま静かに、先ほどのアプリケーションシートの剥離紙の上に乗せ、貼り合わせます。



MEMO

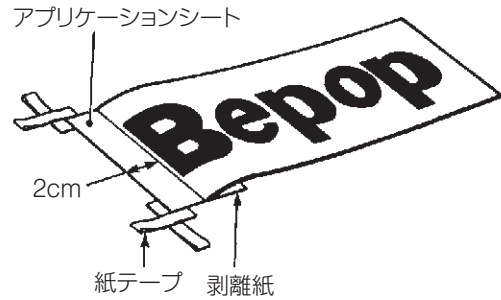
- ☆カット面積の小さい文字の中の部分から取り除くと作業が行いやすいです。
- ☆アプリケーションシートの剥離紙は再度使いますので、捨てないでください。

文字の貼付け

貼り付けるときの注意点は、位置合わせ、気泡の混入、シートの伸び防止（一度伸びると元に戻らない）の3点です。貼り付け方は文字の大小、面積・長さによって、ドライ方式とウェット方式を使い分けることをおすすめします。

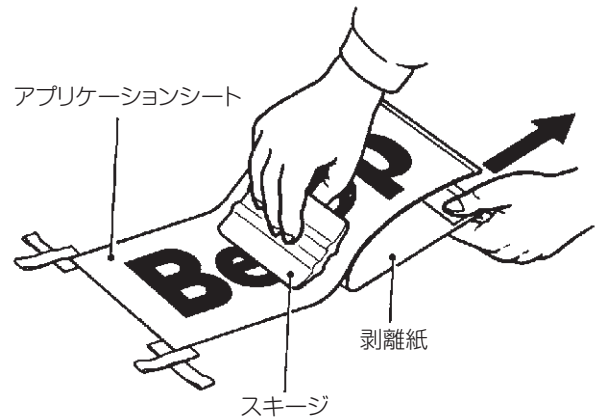
【ドライ方式（長さ50cm以下のとき）】

1 剥離紙を付けたまま、貼り付ける場所に位置合わせし、紙テープで印をつけます。



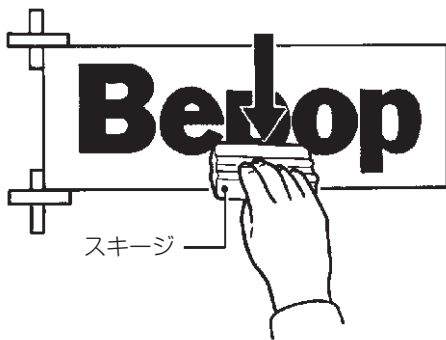
2 一端2cmだけ剥離紙をはがし、裏に折り曲げます。

3 はがした2cmのアプリケーションシートを紙テープの印に合わせて貼り付けます。

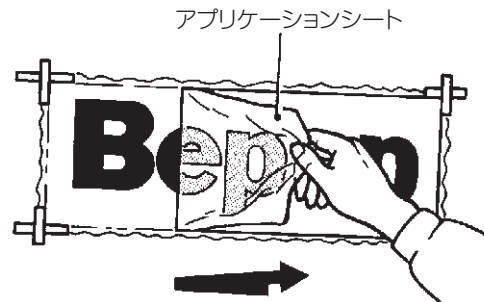


4 はがした2cmの剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を圧着していきます。

5 スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



6 アプリケーションシートを180度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。



MEMO

☆貼り付けたシートに気泡ができた場合には、針で気泡を潰し中の空気を押し出して圧着してください。

[ウェット方式(長さ50cm以上のとき)]

1 家庭用中性洗剤を4リットルの水にスプーン1~2杯を入れ、よくかき混ぜて中性洗剤水溶液をつくります。

2 作った中性洗剤水溶液をスプレー器具に入れてください。

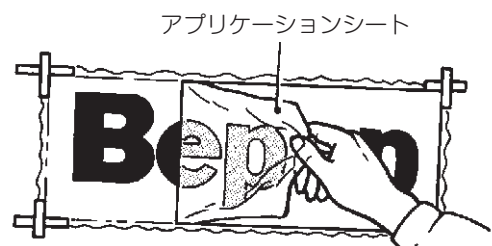
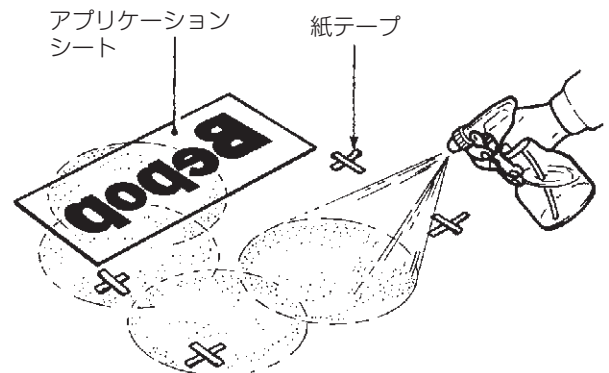
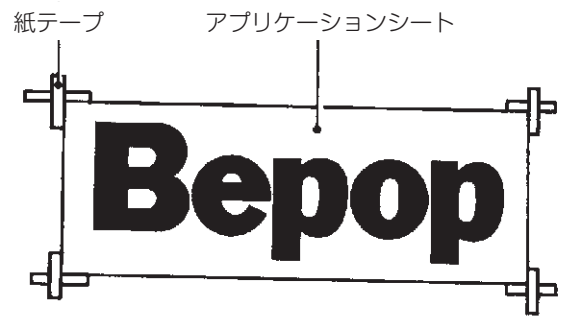
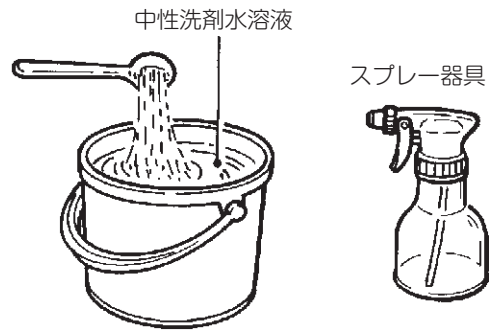
3 剥離紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置合わせをして紙テープで印をつけます。

4 被着面と、アプリケーションシートの剥離紙をはがした接着面に、中性洗剤水溶液をスプレーでまんべんなく吹き付けます。

5 アプリケーションシートを紙テープに合わせ、位置を確認します。

6 スキージを中心から端に向かってこすり、中性洗剤水溶液を押し出し、空気を抜きながら圧着してください。

7 アプリケーションシートを180度の角度で、ゆっくりと注意深くはがしてください。



「簡単印刷」の使い方

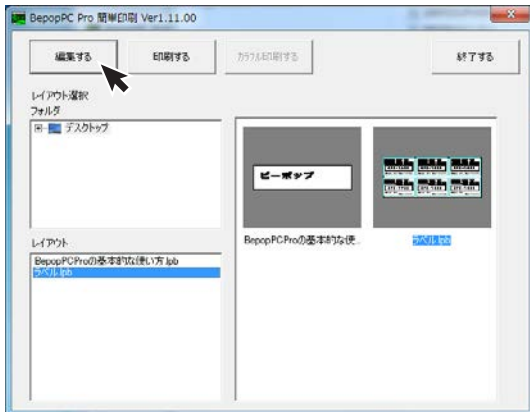
「簡単印刷」アプリケーションでは「Bepop PC Pro」で作成したレイアウトの指定された箇所のみを変更して印刷ができます。どなたでも簡単に発行業務を行うことができます。

1 デスクトップの「簡単印刷」のアイコンをダブルクリックします。

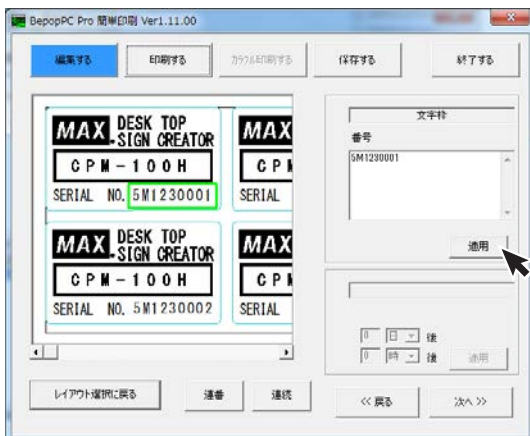
*「スタート」-「すべてのプログラム」-「BepopPC Pro」-「簡単印刷」を選択して開くこともできます。



2 レイアウトファイルの名称 (またはイメージ) をクリックして、「編集する」ボタンをクリックします。



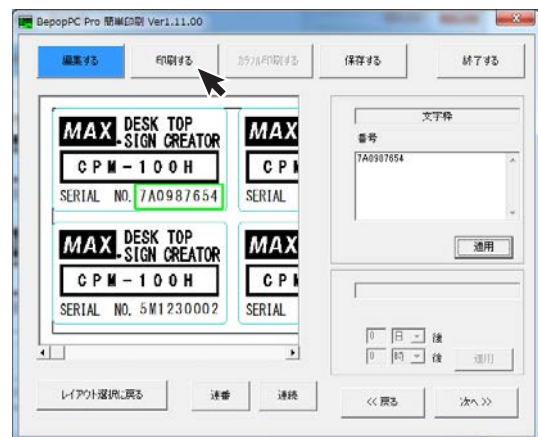
3 変更したい枠のイメージ上でクリックまたは[戻る][次へ]ボタンをクリックし、印刷したい文字を入力して、[適用]ボタンをクリックします。



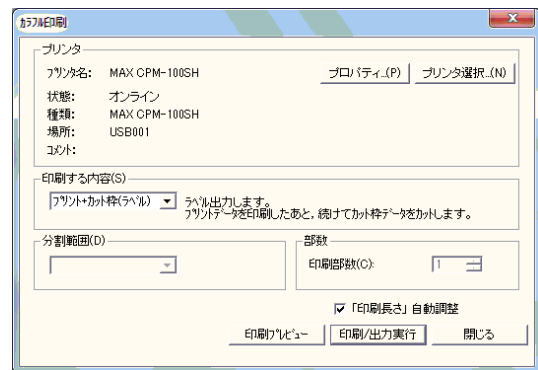
※BepopPC Proで入力した同じ行数が入力できます。
※時計枠の場合、「時計」欄が入力可能になります。

4 入力が完了したら[印刷する]ボタンをクリックします。
[印刷/出力]ボタンをクリックすると、印刷がはじまります。

※詳しい方法は、P32「シートの種類を選択し、印刷する」を参照してください。



※複数色の印刷をおこなう場合には、[カラフル印刷する]ボタンをクリックしてください



アンインストールの方法

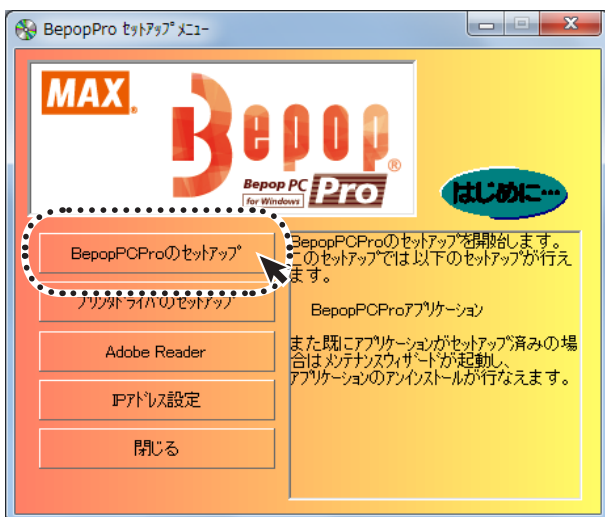
ソフトウェアのアンインストール

アプリケーションソフトをアンインストールするには、次の手順で行なってください。

1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。

2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。Windows8／7／Vistaの場合は、ユーザーアカウント制御画面で「続行」をクリックしてください。

3 Bepop PC Proのセットアップ表示メニューが表示されます。[BepopPCProのセットアップ]をクリックします。

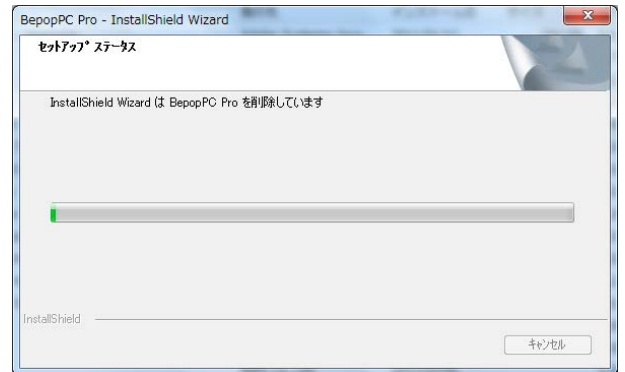


4 [はい] をクリックします。

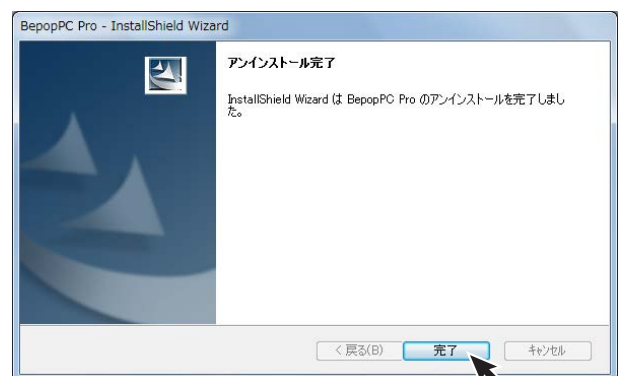
(下記表示はWindows 7/Vistaの場合)



5 アンインストールを開始します。



6 [完了] をクリックします。Bepop PC Proのアンインストールが完了します。



※アンインストールをおこなうと、「MAX太角ゴシック体・MAX太丸ゴシック体」の書体も削除されます。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバのアンインストールを行なうときは、必ず下記手順で行なってください。

【ご注意ください】

- パソコン起動後1度でもBepopで出力している場合は、プリンタドライバをアンインストールできないことがあります。パソコンを再起動してからこのアンインストールを行なってください。
- 他の方法で行なうと、パソコン内に保存されているシステム情報などが削除されず、次のインストールに影響する場合があります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。

2 Bepop PC Proのセットアップメニューが表示されます。
[プリンタドライバのセットアップ]をクリックします。



3 [ドライバのアンインストール]をクリックします。



4 CPM-100SHを選択し[アンインストール]をクリックします。



5 「はい、直ちに再起動します」をチェックし、[完了]をクリックします。



6 パソコンを再起動するとアンインストールは終了です。
※アンインストール後は必ずパソコンを再起動してください。

Bepop-netを利用する

会員制ホームページ <http://www.bepop-net.com/> では、次のようなサービスを無償提供しています。

- 最新ソフトのダウンロード
- シンボルのダウンロード
- 用途のご紹介
- その他

※ご利用は無料ですが、お客様登録をお願いします。
※上記サイトにアクセスし「ユーザー登録」をクリックすると登録画面になります。
※上記サイトの内容は、予告なく変更することがあります。

こんなときは

印刷実行時のPC画面上、ステータスマニタで表示される、エラーメッセージ一覧

	エラーコード	本体LEDの状態	主な原因	対処方法	参照	
本体のセッティングに関わるエラー	200	カバーオープンエラー	赤点灯	ドアカバーが開いています	ドアカバーを閉じてください	P.6
	201	シート無しエラー	赤点灯	シートがありません	新しいシートをセットしてください	P.6
	202	シート送りエラー	赤点灯	シートの残量取得ができません	マックス(株)純正の、商品名の後ろにNのついたシートをセットしてください	P.6
	203	シート残量不足エラー	赤点灯	印刷に必要なシートの長さが足りません	印刷に十分な長さのシートをセットしてください	P.6
	—	リボン不足エラー	緑点灯	印刷途中にインクリボンが足りなくなる可能性があります	印刷に十分な残量のあるリボンをセットしてください	P.7
	—	非専用リボンエラー (単色のプリント時)	緑点灯	単色のプリントをする時に、インクリボンが装着されていません、または専用インクリボン以外が装着されています	詰替えリボンをご使用の場合は、そのまま続行してください。インクリボンをセットするまたは専用インクリボンをセットして印刷を続行してください	P.7
	—	非専用リボンエラー (カラフルプリント時)	緑点灯	カラフルプリント時に、インクリボンが装着されていません、または専用インクリボン以外が装着されています	詰替えリボンをご使用の場合は、そのまま続行してください。インクリボンをセットするまたは専用インクリボンをセットして印刷を続行してください	P.7
	—	カラフルプリント時 リボン色データ無し エラー	緑点灯	装着されているインクリボン色がレイアウトに設定されていません	レイアウトに設定されているインクリボンをセットしてください	P.7
	—	リボン残量不足+ リボン色データ無し エラー	緑点灯	装着されているインクリボン色がレイアウトに設定されておらず、なおかつ、インクリボンの残量が少なく、印刷途中でインクリボンが無くなってしまいう可能性があります	十分残量のあり、レイアウト上で設定されたインクリボンをセットしてください	P.7
	—	カラフルプリント時の ラミネートリボン セットエラー	緑点灯	カラフルプリント時にラミネートリボンがセットされています	通常のインクリボンをセットしてください	P.7
	—	通常プリント時の ラミネートリボン セットエラー	緑点灯	通常プリント時にラミネートリボンがセットされています	通常のインクリボンをセットしてください	P.7
—	ラミネートプリント時の 通常リボンセットエラー	緑点灯	ラミネートプリント時に通常のインクリボンがセットされています	ラミネートリボンをセットしてください	P.7	
印刷時に関わるエラー	400	カバーオープンエラー	赤点灯	印刷時にドアカバーが開いています	印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、ドアカバーを閉じてから再出力を行ってください	P.6
	401	シート無しエラー	赤点灯	印刷時にシートが無くなりました	印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるシートをセットしてから再印刷を行ってください	P.6
	402	リボン無しエラー	赤点灯	印刷時にインクリボンがありませんでした	印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるインクリボンをセットしてから再印刷を行ってください	P.7
	403	シート先端検出エラー	赤点灯	印刷時にシートの先端を検出できませんでした	印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、シートを正しくセットしてから再印刷を行ってください	P.6
	404	シート送りエラー	赤点灯	印刷時に、正常なシート送りができませんでした	印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、マックス(株)純正の、商品名の後ろにNのついたシートをセットして再印刷を行ってください	P.6
	405	シート残量不足 エラー	赤点灯	印刷する長さよりシートの残りが短いです	印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるシートをセットしてから再印刷を行ってください	P.6
	406	UL対応シートエラー	赤点灯	UL対応シートとインクリボンの組合せが適していません	印刷中止を行ったうえで、UL対応シートには、UL専用インクリボンをお使いください または、セットされているシートとシート設定を確認してください	—
407	UL対応シートエラー	赤点灯	UL対応シートに対してカラフル印刷を行いました	印刷中止を行ってください UL対応シートでのカラフル印刷をひかえてください	—	
印刷環境によるエラー	500	本体操作中	緑点灯	本体が操作中です (はざまカット中、フィード中など)	本体の操作が終わった後に印刷を行ってください	—
	501	ヘッド高温エラー	赤点滅	プリンタヘッドが所定の温度より高温になっています	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、ヘッド温度が下がってから電源を入れなおし、再印刷を行ってください	—
	502	ヘッド低温エラー	赤点滅	プリンタヘッドが所定の温度より低温になっています	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、ヘッド温度が上がってから(室内環境が暖かくなつてから)電源を入れなおし、再印刷を行ってください	—
	503	受信データ異常	赤点滅	本体がパソコンから受信したデータが異常です	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、出力先機種の確認を行ってから電源を入れなおし、再度印刷を行ってください	—

	エラーコード	本体LEDの状態	主な原因	対処方法	参照	
修理の必要なエラー	600	ヘッド異常	緑赤交互点滅	プリンタヘッドの異常です	印刷中止を行っただけで、電源を入れなおしてください 症状が改善しない場合は修理が必要です 購入販売店、最寄りのサービスステーションまでご相談ください	P.4
	601	カット原点検出異常	緑赤交互点滅	カットの原点を検出ができません		
	602	ハサミ動作異常	緑赤交互点滅	ハサミが正常に動作しません		
	603	ヘッドU/D異常	緑赤交互点滅	ヘッドユニットが正常に動作しません		
PCと本体の通信エラー	900	通信エラー (コネクション)	変化なし	本体とPCが接続されていません	ケーブルがしっかりささっているか、電源コードがしっかりささっているか、IPアドレスが合っているか、タイムアウト時間を変更していないかご確認ください	LANの設定は P.25 P.26
	901	通信エラー (ライト)		接続はされているが、PCから本体にデータが書き込めていません		
	902	通信エラー (リード)		本体からPCへ応答が返ってきません		
	903	通信エラー		言語モニタとステータスモニタ間の通信がうまくいっていません	ドライバの再インストール、PCの再起動を行ってください	

その他のトラブル

	症状	ご確認ください	対処方法	参照
Beppop PC Proに関するトラブル	ファイルの上書きができない	管理者権限以外の使用者が自分が作成したファイル以外のファイルを上書き保存する事はできません	名前を変えて保存するか、管理者でログインしてください	—
	印刷できたりできなかったりする	「プリンタドライバのプロパティ」-「詳細設定」のタブを開き、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」に設定されていますか	「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」に設定されているかご確認ください	—
	カラフル印刷ができない	2人以上のユーザーでログオンした状態でカラフル印刷を行っていませんか (リボン交換のメッセージが使用していないユーザー画面に表示されてしまいます)	カラフル印刷を行う場合は、ログオンユーザーを1名に限定してお使いください	—
ドライバに関するトラブル	印刷ができない	ステータスモニタが表示されない場合は、右記対応ページをご参照ください ステータスモニタにエラーコードが表示されている場合は、P.47~48【エラーメッセージ一覧】をご参照ください	P.50【ステータスモニタが表示されず、印刷できない】を参照してください	P.50
	インストールしようとする、 「GRPSSUP.DLLが不正です」と表示されてインストールできない	お使いのPCのOSをご確認ください	Windows XP/Vistaの64bit版には未対応です 32bit版でお使いください	—
	「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない	P.49【「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない】を参照してください		P.49
	アンインストールもインストールもできない	印刷ジョブが残っていない場合は、右記対応ページをご参照ください	P.49【アンインストールもインストールもできない (印刷ジョブが残っていない場合)】を参照してください	P.49
	LAN接続でプリンタが認識できない	プリンタ本体のIPアドレスは設定されていますか プリンタ本体側もIPアドレス設定が必要です 詳細は右記対応ページをご参照ください	P.26【CPM-100SH本体のIPアドレス設定】を参照してください	P.26

プリンタドライバのインストールに関するトラブル

■インストールしようとする、「GRPSSUP.DLLが不正です」と表示されてインストールできない

Windows XP/Vistaの64Bit版には未対応です。
32Bit版でお使いください。

■「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない

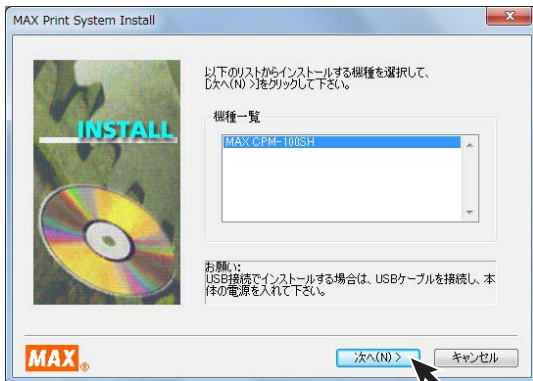
- 1 パソコンを再起動します。
- 2 P46「プリンタドライバのアンインストール」に従って、ドライバのアンインストールを行います。
- 3 パソコンを再起動します。
- 4 ウイルス対策ソフトが動作している場合、終了させます。
- 5 P21「プリンタドライバのインストール」に従って再度インストールを行います。

■アンインストールもインストールもできない場合 (印刷ジョブが残っている場合)

- 1 「スタート」→「プリンタとFAX」を表示しMAX CPM-100SHのアイコンをダブルクリックします。
- 2 ドキュメントが残っていた場合は、「プリンタ」→「すべてのドキュメントを取り消し」を行います。
- 3 再度、アンインストールを行います。

■アンインストールもインストールもできない場合 (印刷ジョブが残っていない場合)

- 1 P21「プリンタドライバのインストール」に従って機種選択まで進みます。
- 2 ShiftキーとLキーを同時に押しながら、「次へ」をクリックします。



- 3 パラレルケーブルにチェックし、「次へ」をクリックしてください。



- 4 「インストール」をクリックします。



- 5 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、「完了」をクリックします。



- 6 再起動します。
- 7 P46「プリンタドライバのアンインストール」に従って、ドライバのアンインストールを行います。
- 8 再起動します。
- 9 ウイルス対策ソフトが動作している場合、終了させます。
- 10 P21「プリンタドライバのインストール」に従って再度インストールを行います。

ステータスマニタが表示されず、印刷できない

ドライバのインストールは、正常に終了したが、印刷時にステータスマニタ（インクの残量やプリンタの状態を表示するウィンドウ）が表示されない。また、タスクバー（通常は画面右下のアイコン）に標準プリンタのアイコンが表示されて、CPMのアイコンが表示されない。

CPM-100SHのアイコン 

原因

ステータスマニタが起動していないか、ドライバのインストール中で同時に行っているステータスマニタのインストールに失敗してしまう為です。失敗の原因はウイルススキャンソフトの動作等の影響が考えられます。CDからのファイルのコピー自体は完了しています。

対処方法

1 症状の確認

「スタート」→「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」）→「管理ツール」→「サービス」から、サービスのウィンドウを開きます。

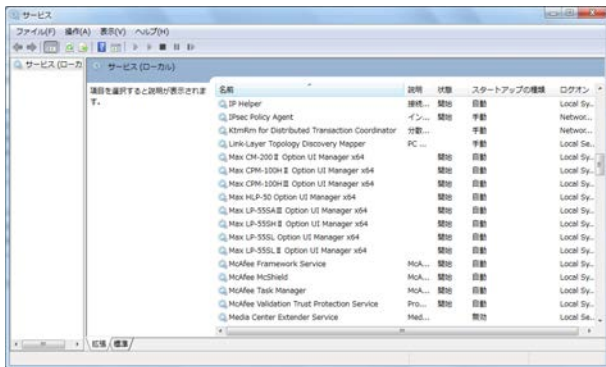
※（ ）内は、コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

名前のあるところに

MAX CPM-100SH Option UI Managerがあるか確認します。

名前のない場合はこの症状に該当します。

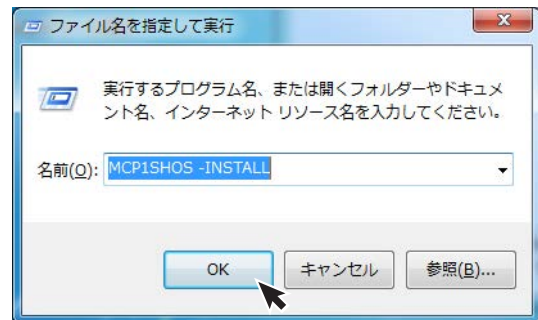
※名前がある場合は、状態が開始になっているか確認します。停止している場合は、右クリックで開始をクリックして完了です。



2 管理者権限（アドミニストレーター権限）でログインしているか確認します。

3 ウイルス対策ソフト（ウイルスバスターなど）が動作していないか確認します。動作しているときは、終了させます（停止では不十分です。必ず終了させます。）

4 手動でのステータスマニタのインストールを行います。「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択します。



上記のように名前の欄に

MCP1SHOS -INSTALL

と入力し、OKボタンをクリックします。ステータスマニタがインストールされます。

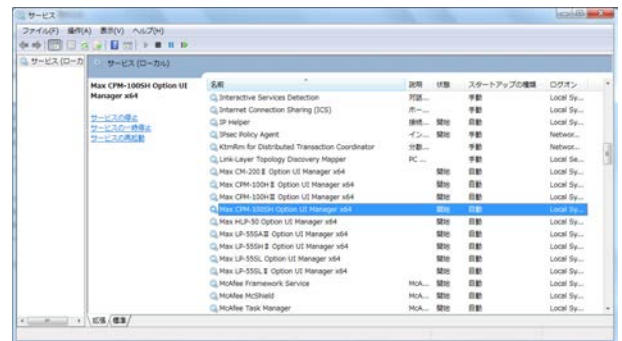
（注意 ーの前は半角スペースとなります。すべて 半角文字で入力してください。）

※ここでエラー（ファイルがありません）が表示される場合は、上記名前の欄の入力の誤りが考えられます。

5 確認方法

1の症状の確認で表示したサービスの中に

MAX CPM-100SH Option UI Managerがあるか確認します。



状態：開始 スタートアップの種類：自動

となっていれば、ステータスマニタのインストールが完了です。（サービスのウィンドウを開いたまま手動インストールを行った場合は、表示の更新を行ってから確認してください。）

ここで表示が出ない場合は、再起動後、2、3を行い、ドライバのアンインストールを行います。

再起動後、2、3を行い、通常のインストールを行います。

通常のインストールで失敗した場合は、4の手動インストールを行います。

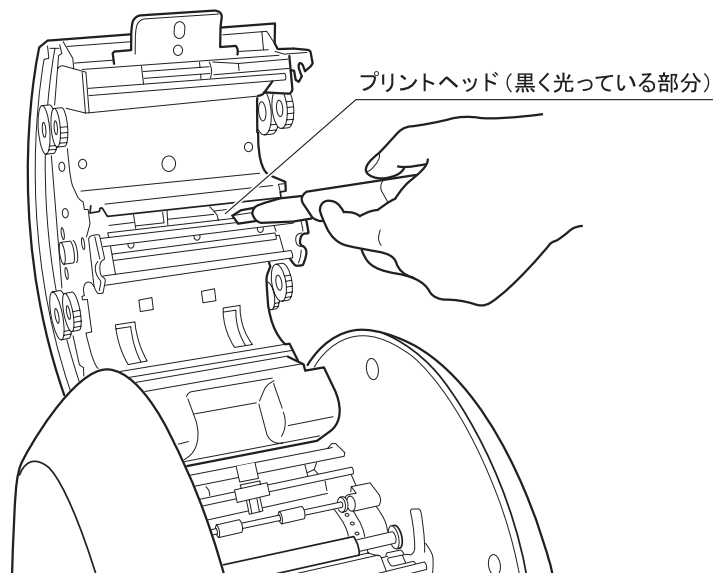
6 完了後、再起動を行ってください。

お手入れのしかた

※この作業は、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。

プリントヘッド (サーマルヘッド) のお手入れ

印字がかすれてきたときなど、付属のヘッドクリーナで、プリントヘッド (サーマルヘッド) を清掃してください。
(インクリボンカセットを外しておこなってください。)



商品仕様

商品名	CPM-100SH	
プリント部	印字方式	熱転写方式
	印字密度	600dpi
	印字速度	50mm/sec.
カッティング部	分解能	0.025mm/step
	カッティング速度	最大120mm/sec.
最大出力範囲	100×2000mm	
インターフェイス	USB2.0フルスピード LAN 10baseT/100baseTX	
使用環境	温度：10～35℃ 湿度：35～80% (ただし結露しないこと) 湿度60%以上は27℃以下推奨 ※UL対応シートをお使いの場合は、温度：15～30℃ 湿度：40～80% (湿度60%以上は27℃以下) の環境下でお使いください。	
電源	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力	70W	
外形寸法	W330×D320×H320mm	
質量 (本体のみ)	9.5kg	

※CPM-100SHのデザイン・仕様などについては、将来予告なしに変更することがあります。

ご不明な点は下記へお問合せください

会員制ホームページ : <http://www.bepop-net.com/>

ご利用は無料ですが、お客様登録をお願いします。

同サイトにアクセスし「新規登録」をクリックすると登録画面になります。

お客様相談ダイヤル : **0120-510-200**

携帯からは : **03-3669-6786** (有料ダイヤル)

月～金曜日(祝日・当社指定休日を除く)午前9時～午後6時

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部	〒 103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03) 3669-8108(代)
支店・営業所			
札幌支店	〒 060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL(011) 261-7141(代)
仙台支店	〒 984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL(022) 236-4121(代)
新潟支店	〒 955-0081	三条市東裏館 2-14-28	TEL(0256) 34-2140(代)
東京支店	〒 103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03) 3669-8141(代)
名古屋支店	〒 462-0819	名古屋市北区平安 2-4-87	TEL(052) 918-8620(代)
大阪支店	〒 553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL(06) 6444-2031(代)
広島支店	〒 733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL(082) 291-6331(代)
福岡支店	〒 812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL(092) 411-5416(代)
盛岡営業所	〒 020-0824	盛岡市東安庭 2-10-3	TEL(019) 621-3541(代)
長野営業所	〒 399-0033	松本市笹賀 8155	TEL(0263) 26-4377(代)
静岡営業所	〒 420-0067	静岡市葵区幸町 29-1	TEL(054) 205-3535(代)
販売関係会社			
埼玉マックス(株)	〒 331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL(048) 651-5341(代)
金沢マックス(株)	〒 921-8061	金沢市森戸 2-15	TEL(076) 240-1871(代)
四国マックス(株)	〒 761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL(087) 866-5599(代)
マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)			
本社・高崎サービスステーション	〒 370-0031	高崎市上大類町 412	TEL(027) 350-7820(代)
札幌サービスステーション	〒 060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL(011) 231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒 984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL(022) 237-0778(代)
東京サービスステーション	〒 190-0022	東京都立川市錦町 5-17-19	TEL(042) 548-5332(代)
名古屋サービスステーション	〒 462-0819	名古屋市北区平安 2-4-87	TEL(052) 918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒 553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL(06) 6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒 733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL(082) 291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒 812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL(092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

マックス株式会社 オフィスソリューション営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

N138N